



2023 ANNUAL REPORT

社会福祉法人 京都府社会福祉事業団

令和5年度 事業報告書 及び 決算書

Annual Report 2023 contents

基本理念 / 基本方針	01
法人概要	02
運営施設及び主な実施事業	03
法人事業報告	04
施設事業報告	10
● 京都府立心身障害者福祉センター	
● 京都府立洛南寮	
● 京都府立東山母子生活支援施設	
● 京都府立視力障害者福祉センター	
● 京都府立桃山学園	
● 京都府立こども発達支援センター	
● 京都府発達障害者支援センター	
関連資料	31
職員配置状況	89
決算報告書（抜粋版）	91



K 京都府 (希望)
S 社会福祉 (しあわせ)
J 事業団



基本理念

- 1 社会福祉施設としての公的責任を果たす施設であること
- 2 利用者の権利を擁護し、利用者本位の、利用者には選ばれる施設であること
- 3 地域福祉の向上のため、地域との連携を図り、地域から信頼され、地域に開かれた施設であること
- 4 主体性のある法人・施設をめざすこと

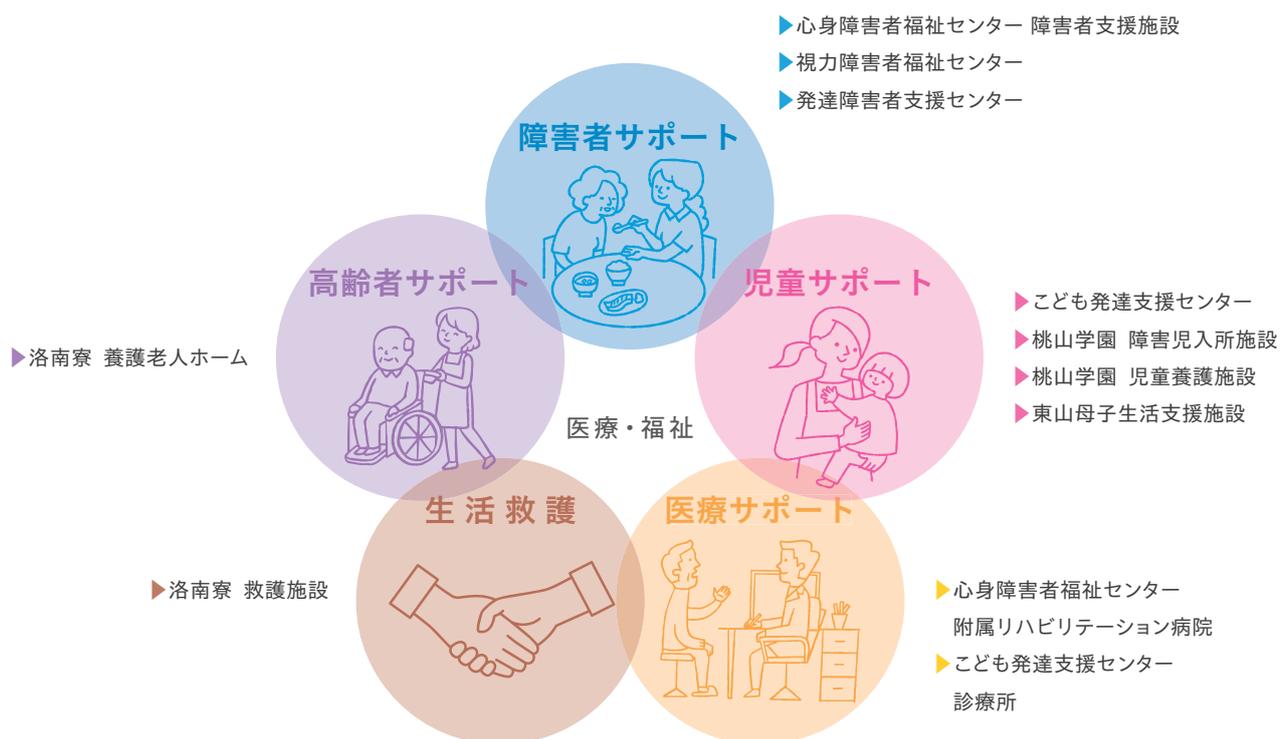


基本方針

- 1 利用者一人ひとりの満足度の向上を追求し続ける事業団
- 2 地域や企業、大学など様々な主体とともに歩み続ける事業団
- 3 人・財力を高め、強固な組織へと進化し続ける事業団

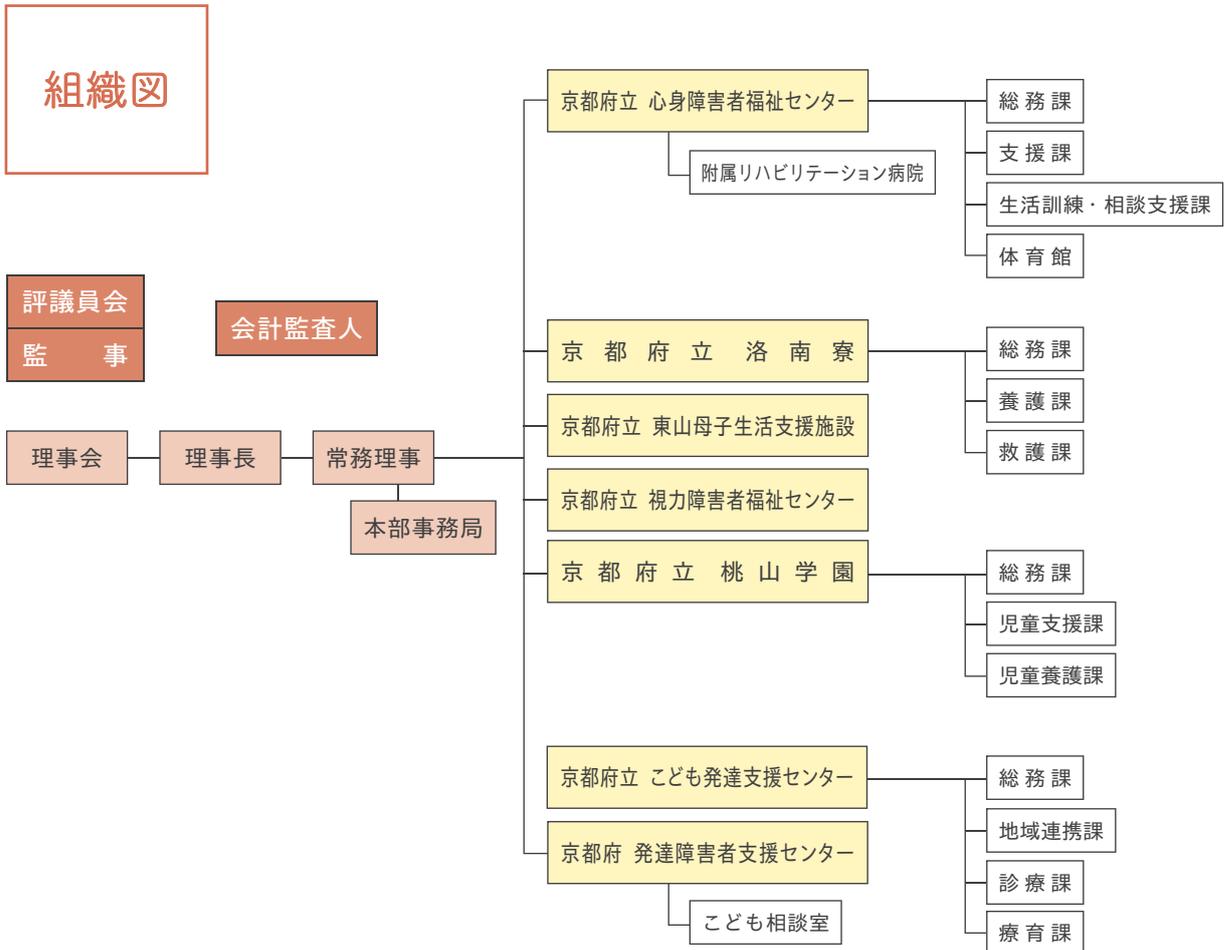
(中期運営計画～利用者満足度の向上をめざして～ より 将来ビジョン)

幅広い 5つの分野を支える組織



法人概要

名称	社会福祉法人京都市社会福祉事業団
代表者	理事長 中本 晴夫
所在地	〒604-0874 京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町 375 番地 京都市立総合社会福祉会館 6 階
基本金	10,000,000 円
設立年月日	昭和 52 年 8 月 2 日
事業内容	第一種・第二種社会福祉事業 / 公益事業（病院・体育館）
ホームページ	https://ksj.or.jp/



運営施設 及び 主な実施事業

京都府立
心身障害者福祉センター

障害者支援施設
(施設入所・生活介護・短期入所・自立訓練)
一般・特定相談支援事業 / 体育館

(附属リハビリテーション病院)

病院 (整形外科・リハビリテーション科・神経内科・
精神科・歯科・内科 (循環器)・泌尿器科)

京都府立 洛南寮

養護老人ホーム / 特定入居者生活介護事業
救護施設 / 居宅生活訓練事業・認定就労支援事業等

京都府立
東山母子生活支援施設

母子生活支援施設 / DV 一時保護事業

京都府立
視力障害者福祉センター

障害者支援施設 (施設入所・就労支援事業) /
特定相談支援事業

京都府立 桃山学園

障害児入所施設 (福祉型障害児入所施設・短期入所) /
日中一時支援事業 / 一般・特定相談支援事業
児童養護施設 / 子育て支援事業

京都府立
こども発達支援センター
(すてっぷセンター)

児童発達支援センター (福祉型・医療型) / 児童発達
支援事業 (重症心身障害児)
放課後等デイサービス / 保育所等訪問支援 / 障害児相
談支援事業 / 診療所 (小児科・児童精神科・整形外科)

京都府
発達障害者支援センター
(はばたき)

発達障害者支援センター / こども相談室 (ぐーちょきぱー)

法人事業報告

01 | 利用者満足度の向上をめざして

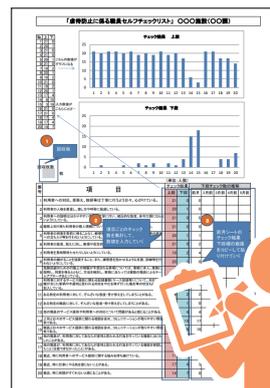
安心と安全の確保

虐待や事故の防止、身体拘束適正化

法人主催の「虐待防止委員会」(年1回)に加え、施設にて「虐待・事故防止/身体拘束適正化委員会」を毎月開催し、外部委員や他施設施設長にも参加いただき、セルフチェックである職員の声や、事故・ヒヤリハット報告をもとに、必要な対策を検討し、即時対応に努めました。

法人共通で実施する「虐待防止に係る職員セルフチェック」は**開始後9年目**にはいり、項目の見直しやより効果的な活用を検討して継続しています。

事故ヒヤリハット報告は、**法人共通の指標**で集計し、「サービス向上推進幹事会」等で、類似の事案への対策を検討しました。



Googleフォームで2か月に1回セルフチェック

地震・水害等の自然災害対応

- 自然災害に備えるBCP(法人版)を策定し、施設ごとにも策定に取り組みました。備蓄品の点検や、全国社会福祉事業団協議会近畿ブロックで連携した訓練の実施なども継続しました。
- 能登半島地震へは、職員を派遣(3名)し、現地の様子を全国社会福祉事業団協議会近畿ブロック研修時に報告する等、危機管理意識の醸成に努めました。
- 桃山学園では、チャレンジ研究制度を活用し、職員から独自の総合訓練について研究し、R6年度に実践を予定しています



避難所の掲示版

新型コロナウイルス等感染症対策

- 5月に第5類感染症へ移行し、国からの通知をふまえて対応の見直しを図ったものの、クラスターが数回発生し、他施設への職員応援派遣体制を組むなど、年間を通じて対応が必要でした。

(クラスター発生状況)

- 8月 心障センター 障害者支援施設
- 9月 桃山学園 障害児入所施設
- 12月末 洛南寮救護施設
- 3月末 洛南寮養護老人ホーム

- 感染症資材リストの点検・補充や、感染症対応研修の開催など、有事に備えました。



6月27日 感染症対策研修 22名

02 | 施設×施設 連携して新たな特色を！

心身障害者福祉センター 附属リハ病院

×

こども発達支援センター 診療課

- 障害児から障害者までシームレスに診断をつなぐ！セラピスト間での勉強会開催や施設間をつなぐ案内用パンフレットを作成

桃山学園 児童養護課

×

こども発達支援センター 療育課

- 障害のある幼児の入所も増えてきた児童養護施設にとって、声掛けや関わり方等を学ぶ機会として、児童発達支援センターと実習や職員派遣等を実施

発達障害者支援センター

×

桃山学園

×

東山母子生活支援施設

- 発達障害児・者や、さまざまな関わりが必要なケースに発達障害者支援センター相談員が訪問して、研修やスーパーバイズを実施

視力障害者福祉センター

×

洛南寮

×

東山母子生活支援施設

- 洛南寮を訪問してのあん摩施術や、東山母子生活支援施設の利用者を対象に、日常生活に取り入れやすいツボ（リフレッシュや肩こり等に効果的なツボ）を説明



施設間をつなぐ案内パンフレット



洛南寮利用者へのあん摩奉仕



母子生活支援施設でのツボ教室

「社会福祉連携推進法人きょうと福祉キャリアサポート」に加入

京都府内の社会福祉法人が協働し、社会福祉連携推進法人として、人材確保や職員の資質向上、地域福祉の促進を行うために設立した「社会福祉連携推進法人きょうと福祉キャリアサポート」に加入しました。(全7法人)

学生向けに福祉の仕事の魅力を知ってもらうイベント「フクシロ（福祉を知ろう）フェア」では、それぞれの法人からどんな仕事なのかイメージしてもらおうと工夫して紹介しました。

1回生から3回生までの16名の学生が参加くださいました。

職員向け合同研修「社会福祉セミナー」では社会福祉制度に関する講義や情報交換など行いました。(参加者65名)



3月13日「フクシロフェア」の様子 (参加者16名)

03 | 人財や財政等 組織基盤を強化する

01 人材の確保・定着と育成、働き方改革の取り組み

人材の確保・定着

1 学校別リクルーター新設（令和5年3月～）



▲先輩職員であるリクルーターとともに、法人に関心のある求職者を対象に、就職説明会を開催しました。（5月 参加者14名）



▲5つの大学それぞれにリクルーターを任命（6名）し、学校訪問やお世話になった教授と連絡・フェアでのPRなど行いました。また、不安なく活動できるよう、事前に名刺交換やPRの練習など、勉強会を行いました。

2 他法人との人事交流など新たな人材育成策を実施

公募制人事異動（1名）や初期キャリア形成期間の積極的なジョブローテーション（人事異動）、そして他法人との人事交流（南山城学園 1名）など戦略的な人材育成策として新たな取り組みを行いました。

特に、社会福祉法人南山城学園様と連携して取り組んだ人事交流は、組織風土の異なる中で1年間勤務・経験した職員も、受入れ施設も、相互に学びや刺激となった取り組みでした。（R6 継続）



京都府社会福祉事業団
洛南寮 養護老人ホーム



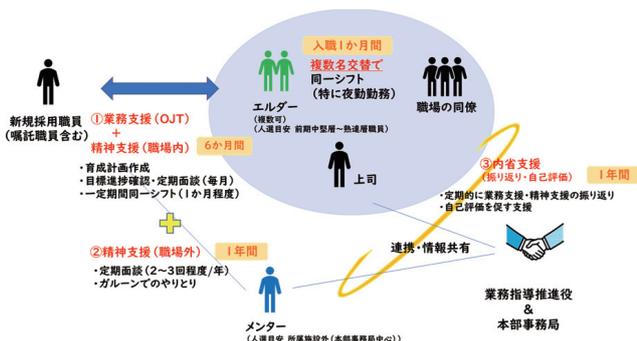
南山城学園
障害者支援施設 和

南山城学園
障害者支援施設 紡

京都府社会福祉事業団
桃山学園 障害児入所施設

3 新規採用職員育成システムの再構築

新規採用職員に先輩職員が半年間個別にサポートするエルダー制度を運用していましたが、さらなる充実を図ろうと、新たに施設外の職員が、精神面のサポートを行うメンターとして1年間サポートする等、「KSJスターティングサポート」としてリニューアルさせました。



4 資格取得支援制度の実施

職員の技術と意欲の向上を図るため、社会福祉士や介護福祉士等国家資格取得に係る経費を負担するよう制度化し、取得を支援しました。

5 職員チャレンジ研究支援制度の創設

利用者満足度の向上等に繋がる調査研究活動を募集選考し、係る経費を支援する「職員チャレンジ研究支援制度」を創設し、合計6つの活動を支援しました。活動成果は、毎年開催している「実践・研究発表会」にて発表し、次年度事業に反映させることとしています。



2月 第15回実践・研究発表会 開催

チャレンジテーマ

- ① 他施設間とのリハビリテーションの連携について
- ② 生活訓練事業所ひまわり魅力増進計画
高次脳機能障害に特化した生活訓練事業所における効果的な訓練プログラムの構築に係る考察
- ③ 救護利用者を対象にした就労に係る働きかけによる効果について
- ④ 明日の地震に備えて～南海トラフ地震に備えて～
- ⑤ 脳性麻痺児の歩行能力に関するトレッドミルトレーニングの有効性について
- ⑥ 新規口腔疾患診断技術の開発と医科歯科連携

その他の取組み

- 法人独自のインターンシップを実施

(2月：4名参加)

文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意により、インターンシップの取扱いが変更されたことを受け、就業体験を伴う「汎用的能力・専門活用型」のインターンシップを新設実施しました。「福祉の魅力をみつけよう」をテーマに、複数施設の就業体験と事後学習で7日間のプログラムを構成し、修了者に対しては次の採用につなげる予定です。



就業体験の様子



事後学習の様子

- 看護師連絡会を設置・開催
施設間連携と人材育成を図ることを目的とし、職種別連絡会の開催を推進する中、栄養士連絡会に加えて、今年度は看護師連絡会を設置し、施設見学や課題・情報の共有等実施しました。(2回/年)



病院 手術室を見学

- IT機器の積極的導入及び活用
 - ▶ 心障センター 自走式リフター 複数更新
洛南寮 自走式リフター 導入
インカム・音声入力記録システム運用
2施設合同で先進施設への視察や情報共有など相互に連携

- 福祉留学生を洛南寮で受入れ(1名)
「福祉留学」(運営主体：NPO法人Ubdobe)の提携先(洛南寮)となり、福祉に関心のある大学生を全国から募集・選抜して受け入れ、短期間の体験として受け入れました。
看護師資格を取得する関東からの留学大学生は、保健師や精神衛生に関心があったことから、洛南寮での業務体験に加え、山城北保健所や母子生活支援施設の見学も行ってもらいました。



居宅訓練の様子を見学



利用者さんと交流

02 子育てや介護にやさしい職場をつくる

- 次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を更新し、子育てや介護を仕事と両立できる職場環境づくりの推進に努めました。
- 男性の育児休暇取得目標15%も達成されたことから、令和6年度からは75%にアップさせ、積極的に取得率を高めていくこととします。
- 子育て応援ハンドブックの内容も充実を図り、育児休暇を取得した男性職員の体験記も掲載しました。
- グループウェア（株）サイボウズ「Garoon」の活用で業務効率化を推進しました。掲示板やメッセージ、ファイル共有により、連絡や情報共有の効率化が図られ、職員間のコミュニケーションやオンライン会議の開催も、手軽に行えるようになりました。内定者への連絡や質問対応などにも活用し、入社までのサポートにも役立ちました。



ハンドブックを毎年更新



取得者体験談を掲載



クラウド上で情報共有や職員間の連絡をとりあえる仕組みを活用

03 組織・財務体質の強化、業務効率化の取組み

- 会計監査人の設置
 - ▶定期訪問調査 6回（本部訪問4回/施設訪問2回）
 - 決算処理（棚卸や未収金管理、明細書作成）や利用者預り金管理など会計処理上の懸案事項への指導実施
 - ・施設長による収支分析報告による予算管理の徹底（9回/年）
 - ・オンライン会議の推進による業務効率化を推進
 - ・事務費変動費予算の2%カットによる経費の抑制

04 効果的な情報発信の取組み

- ホームページを写真での構成を主とした内容から情報の充実性に留意した内容にリニューアル(1月公開)



Recruit

- 本部事務局及び施設「魅力発信チーム」によるInstagramやブログでの積極的に情報を発信（法人Instagramアカウント **フォロワー1,000人** 達成）

●KSJブランディング事業

社会福祉法人 京都府社会福祉事業団 **福祉合同作品展** !NEW!
FUKUSHI
つながる クリエイト

12月9日(土) 10:30~16:00
 於:文化パルク城陽 市民プラザ

初めての法人合同イベント「FUKUSHIつながるクリエイト」を開催し、総勢200名の方々に参加いただきました。

各施設の取組み紹介、利用者様の作品を展示する展示コーナーとロコモ体操や点字での名刺作成などのワークショップ、そして桃山学園で栽培した野菜プレゼント、ポッチャ大会などで構成し法人の魅力を凝縮したイベントとなりました。



桃山学園児童が栽培・収穫した野菜
 抽選会前には動画を上映



ワークショップ「ツボ教室」



ワークショップ「ロコモ体操」

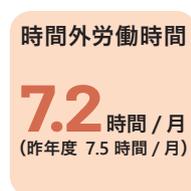
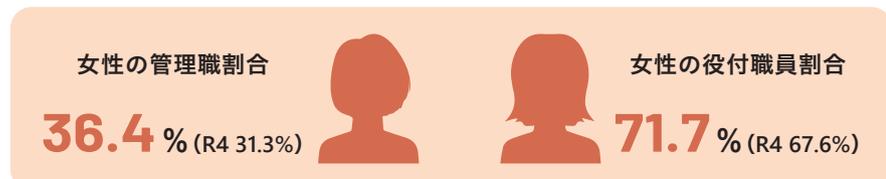


各施設 作品の展示

データでみる KSJ2023



採用者数	新卒	既卒	合計
支援員	4	3	7
理学療法士	0	1	1
作業療法士	0	1	1
言語聴覚士	0	1	1
看護師	0	1	1
公認心理士	1	0	1
合計	5	7	12



○ 京都府立心身障害者福祉センター

1 障害者支援施設「あしはらの丘」

コロナ禍で中止を余儀なくされていた日々の作品作りや、生活訓練事業所ひまわりの通所者と協働した菜園づくり、ご家族参加型の行事等の日中活動を徐々に復活させることができました。

また、併設の附属リハビリテーション病院や体育館と連携し、セラピストによる集団リハビリや、パラスポーツ活動の定期実施及び医療的なりハビリの対象外の利用者についても簡易リハビリ（仮称：プチリハビリ）を実施する等、利用者の満足度の向上に努めました。

さらに、地域との連携としては、城陽市社会福祉協議会等と連携し、小中学校（4校）での福祉体験学習を行い、福祉への理解促進や、地域とのつながり強化に取り組み、各学校からも好評を得ました。

職員のスキルアップのための研修や、サービス標準化をめざしたマニュアルの策定・更新を行うとともに、ノーリフティングケアをめざした介護機器の導入のほか、就寝時の利用者の身体の状況を把握し、適切な対応を行うICT機器も試行し、導入を検討しました。

日中活動の充実を図り、心豊かな暮らしを

- ものづくり創作として、壁面飾りや季節のペーパークラフトなど自主製作品を制作し、京都府の「とっておきの芸術祭」や法人主催行事「FUKUSHIつながるクリエイト」他 地域主催の催しにも積極的に出展しました。
- ノウフク連携として、生活訓練事業所ひまわりと連携し、通所利用者と協働した菜園づくりを行いました。
- ご家族参加型の行事（家族交流会）等の日中活動も徐々に復活



FUKUSHIつながるクリエイト出展作品

リハビリやパラスポーツで健康増進

- 併設の附属リハビリテーション病院や体育館と連携し、セラピストによる集団リハビリやパラスポーツ活動を定期的に行いました。
- 医療的なりハビリとしては対象外の利用者様へも新たに「プチリハ（簡易リハビリ）」を行って、健康増進と身体機能の維持向上をめざしました。



アレンジメントフラワー

ノーリフティングケアの推進

- 老朽化した移乗用リフター2台を更新し（設置リフター6台）、日々の介助業務の安全性向上や、職員の負担軽減につなげるようノーリフティングケアの推進に取り組みました。
- また、新たに就寝時の利用者の身体の状況を把握し、適切な対応を行うための機器として、「眠りSCAN」を試行使用し、次年度の本格導入に向けて検討・準備を行いました。



介護機器（移乗用リフターの活用）

生活介護事業や短期入所の受入れで地域福祉に貢献

- 今年度は新たに2名の入所がある一方、退所者（2名）もあり、年度末は43名と、目標人数には至りませんでした。
- 一方、外部からの日中生活介護利用や、空床型短期事業の利用を緊急かつ長期に受け入れました。

- 年度末入所者数 43名（目標 48名）
- 短期入所事業 新規2名（目標 2名）
- 日中通所利用 新規3名（目標 2名）

2 生活訓練事業所 ひまわり

訓練メニューの充実

- 高次脳機能障害を有する方の社会復帰に向けたSST（ソーシャルスキルトレーニング）やロールプレイ等新規訓練メニューを導入しました。
- 新たな評価ツールとして、自立度評価指標（SIM）や幕張版ワークサンプル（MWS）導入を検討し、次年度からのより効果的な自立支援プログラムに活用予定です。



訓練風景

家族交流の場「南部高次脳カフェ」開催

- 地域における高次脳機能障害の方やそのご家族が交流できる場として、「南部高次脳カフェ」を施設内及び体育館で開催しました。（3回/年）
- 現利用者のご家族同士で交流いただく「家族教室」と、ご利用者や訓練修了者、そのご家族を対象を広げた「交流会」という2つの形式で実施しました。
- 利用者も実行委員として関わっていただき、京都府北部の家族会から講師を招いてのご講義、就労先や家庭で実践している生活の工夫など当事者経験を共有するなど内容も充実させました。（参加者合計 延べ33名）



南部高次脳カフェ

3名の方が訓練を終了

- 関係機関と連携し、3名の方が訓練期間を終了されました。
（終了後：職場復帰…1名、就労継続B型事業所…1名、その他…1名）
- 年間登録利用者数12名（目標12名）
平均1日通所者数は4名（目標4名）

3 相談支援事業所 TOMO

- 併設の障害者入所施設利用者に対する計画相談支援に加え、附属リハビリテーション病院や京都府病院内患者様に対して計画相談や日々の相談支援を行いました。
- サービス等利用計画、モニタリング報告書の作成：137件



4 体育館

- 京都府南部の障害者スポーツ・レクリエーションの活動拠点として、障害者スポーツ教室の実施（年18回）をはじめ、パラ・パワーリフティングのナショナルトレーニングセンター指定施設として、競技団体の強化練習や合宿、「第6回チャレンジカップ京都」の開催に協力しました。



「第6回チャレンジカップ京都」競技風景

5 附属リハビリテーション病院

人工関節置換術など高度な手術や高次脳機能障害専門外来といった附属リハビリテーション病院の特色を活かした多様な医療サービスを京都府立医科大学附属病院と連携して提供することで、地域の皆様の健康と快適な暮らしを支え、地域の皆様から信頼される病院運営に努めました。

また、コロナ禍において、院内における感染予防対策を徹底し、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種医療機関としての対応や、送迎バス利用のほか、GWや年末年始のリハビリ実施等、多職種職員が一体となって稼働率向上に取り組み、入院・外来患者はコロナ禍以前程度まで改善傾向となりました。

また、隣接の体育館がナショナルトレーニングセンターであるパラ・パワーリフティングに対しては、日本初のメダリスト誕生をめざし、医科学的サポートを行い、スポーツを通じた障害者支援活動に取り組みました。

他病院等との連携による医療サービスの提供

- 府立医科大学整形外科教室、リウマチセンター、リハビリテーション医学教室など他院との連携を拡充し、患者の積極的受入れに努め、目標には至りませんでした。前年度よりは回復傾向となりました。

- 1日当たりの患者数

外来	62.8名	(目標70名)	目標達成率	90%
入院	14.6名	(目標15名)	"	97%

 - ・手術患者 年52名 (目標50名)
 - ・高次脳機能障害専門外来新規患者 年18名 (目標20名)
 - ・生活訓練事業所ひまわりへの紹介 年11名 (目標5名)
 - ・術前等口腔ケア患者 年41名 (目標30名)
 - ・新規障害児(者) 歯科患者 年16名 (目標15名)



- 近隣の南京都病院とは、互いの専門性を活かした機能分担や患者送迎バスを一部当院でも利用させてもらうなど連携しています。

- 地域連携室の職員が、地域医療における病診連携に関する専門部会への参加や他病院への訪問等を行うことで、情報共有に努めました。

病院専門的知見を地域へ還元

- 地域住民の健康増進をめざし、病院長等による講演（骨粗鬆症の予防と治療、ロコモティブシンドロームなど）と理学療法士によるロコモ体操を行う「出前講座」を開催しました。

会場となった城陽市老人福祉センター（陽寿苑、陽東苑）には、多くの方々にご参加いただきました。（延べ57名/計2回）

- 高次脳機能障害や脳卒中に関する「公開講座」を体育館にて開催しました。当院の神経内科医師による高次脳機能障害に対する専門外来の取組みや、生活訓練事業所ひまわりの作業療法士によるリハビリや社会復帰の取組みについて講義しました。（参加者28名）



出前講座（徳永院長講義の様子）

より高度な医療サービス提供をめざして人材育成を推進

- 高次脳機能障害支援事業関係職員研修会や京都府看護協会主催の研修、京都府リハビリテーション教育センター実践セミナーなどに参加し、新たな知識や技術の取得に努めました。（受講研修21件、延べ参加者数42名）



出前講座
（作業療法士による体操の様子）

障害児歯科や夜間救急対応研修等で社会福祉施設をサポート

- ども発達支援センターには、当院の歯科医師と歯科衛生士が訪問し通園中の児童26名を対象に歯科健診を実施し、むし歯の有無、口腔内チェックなどを行うとともに、保護者さんからの歯磨きや虫歯予防に関する相談等も受けました。
- 桃山学園障害児入所施設には、当院の歯科衛生士が訪問し、入所の児童や職員に向けて虫歯予防や歯磨きの方法など口腔ケアの研修を行いました。
- 障害者支援施設の新任職員研修にて、看護師が、「夜間における急変時対応」をテーマに、頭痛や腹痛、血圧など、見逃せない身体症状や身体構造とその疾患など講義しました。
怖い頭痛と怖くない頭痛、頭痛を引き起こす様々な疾患、お腹が痛む時は部位によって考えられる疾患が異なること等、医療分野以外の職員にもわかりやすい内容で好評を得ました。



障害児入所施設での口腔ケア研修の様子



障害者支援施設職員への講義の様子

障害児から障害者へのシームレスな医療提供をめざして

- ども発達支援センターのセラピストと合同での研修会の実施や、成長した障害児を当院で受け入れるための病院紹介冊子を共同制作するなど、シームレスな医療サービス提供に向けて取り組みました。

各種訓練実施によるリスクマネジメントの強化

- さまざまなシチュエーションを想定しての訓練を行い、病院内でのリスクに備える取組みを行い、職員の意識醸成に努めました。
- 心肺蘇生・AED訓練では、コードブルー（医療機関の中で救命措置を必要とするような緊急事態が発生した場合に発信する館内の緊急コール）訓練を実施、また敷地内の社会福祉施設との合同避難訓練、そして夜間発生を想定した地震防火避難訓練等実施しました。



コードブルー訓練



福祉施設との合同避難訓練



夜間想定地震防火避難訓練

京都市立洛南寮

1 養護老人ホーム

新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類から5類に変更された後も2回のクラスターが発生し、対応が必要となりましたが、留意しつつもコロナ禍以前の生活に戻すように努めました。9月開催の「敬老のつどい」には、4年振りに来賓をお招きする対面開催とし、ご出席された西脇京都府知事に利用者とゲームを行っていただいたり、ボランティア団体によるパフォーマンス（大正琴）も復活するなど、久しぶりの賑わいを利用者の皆様楽しんでいただくことができました。

また、積極的に介護機器の導入やICT化を推進し、安心・安全な利用者支援と職員の負担軽減をめざす中、「自走式介護用リフト」の導入やインカム・音声入力記録システムの活用、新たな機器検討など行いました。

今年度は、機能訓練指導員として作業療法士を附属リハビリテーション病院との兼務配置し、生活の中での個別リハビリを充実することができました。

地域に向けては、引き続き、地域にお住まいの高齢者に関する虐待被害等緊急課題への相談対応や、一時保護機関として緊急入所（2名）を受け入れるなど、ニーズへのスピーディーな対応に努めました。



敬老のつどいの様子

ステイホーム主体から徐々に外出支援等の再開へ

- コロナ禍で減った外出機会も、外食やショッピングなど少しずつ再開していくとともに、寮内での日中活動も、季節の飾り物やフラワーアレンジメント等作品づくり、介護予防体操やカラオケ等充実に努めました。事前に伺った好みのメニューを召し上がっていただく寮内食事会では、普段と違った雰囲気の中で楽しんでいただきました。



庭作業



塗り絵



食事の様子



七夕飾り付け



クリスマスツリー作り



機能訓練指導員の棒体操

養護老人ホームとしてより多くの方を受け入れるために

「利用者確保対策委員会」での対策検討や、福祉事務所への働きかけ、関係団体での部会や京都府主催の市町村会議での呼びかけを行うも、新たな入所は9名、退所される方も9名となり、前年度末と同じ利用者数となりました。

また、入所者のうち、介護を要する方については、施設内の一般型特定施設入居者生活介護（介護保険サービス）の契約を別途行い、介護サービスを利用していただきますが、一時は21名と契約（定員想定は30名程度）するも、退所や長期入院等で年度末時点は16名となりました。

- 年度末 入所者数 71名（目標90名）
介護サービス契約者数 16名（目標30名）
- 市町村との連携のもと、新たに私的契約入所の受入れを自主事業として実施しました。一時的な対応ではありますがニーズへ応えることができました。（1名：10月～3月）
- 一層の施設機能の理解促進が必要と考え、SNSやホームページでの情報発信、また全国の学生が参加する「福祉留学」の受入れを推進し、福祉に関心のある学生の受入れを行いました。（1名）
- 施設内では介護保険制度や措置制度等の勉強会を定期的に行い、その一環として外部講師を招いた研修会も開催するとともに、他施設の状況や課題に関する理解を深めることや参考にさせてもらうため、他の養護老人ホームの施設見学を行いました。（8～9月 2施設）

新たな介護機器等導入の推進

- 安心安全な介護や職員の負担軽減を目指し、「介護機器・IT機器等導入検討チーム」が中心となって、複数の先駆的取組みをしている介護施設への視察を行い情報収集に努めました。
また、前年度に導入した音声入力での記録や、インカムによる職員間での情報共有が可能なシステムを本格的に運用開始しました。タイムリーな情報共有や記録ができるようになりましたが、引き続き活用への工夫を重ねることとしています。
- 介護度の高い利用者の介助場面で使用する「自走式介護用リフト」を導入・活用に取り組むとともに、睡眠時の見守りシステム「眠りSCAN」を試行し、記録システムとの連動など、次年度以降の本格導入を検討予定です。



インカムの導入



介護用リフト活用研修の様子



眠りSCANの試行



嚥下機能低下に対応した食事の提供

- 「食事形態検討委員会」にて、全利用者の適切な食事形態を検討し、個々の嚥下能力に応じた食事提供に努めました。
- 柔らかくムース状に調理した「ソフト食」については、試食やメニューの検討を含めた職員への研修を経て、対象の方へ提供開始しました。
- 消防署から講師を招き「急変時の対応」をテーマにして、喉詰り時の救急対応方法やAED操作等の実技を学び、職員の救急救命意識の向上につなげました。

2 救護施設

生活困窮をはじめ様々な生活上の課題を抱え、総合的な支援を必要とする利用者を受け入れ、一人ひとりの人権を尊重し、心身ともに健康で安心できる暮らしと地域社会での自立に向けた支援や訓練を行いました。

特に、救護施設に求められる「循環型セーフティネット機能」として、3つの段階で地域移行を目指す「洛南寮式自立支援プログラム」(ホップ:「施設内就労訓練」、ステップ:「生活訓練」、ジャンプ「居宅生活訓練事業」)を引き続き推進し、また、施設内就労として行っていた清掃作業を法人内の他施設に出張して行うなど、充実を図りました。こうした様々な訓練を経て、今年度は新たに2名の方が地域生活に移行することが出来ました。

また、入所中に、高齢になられて介護支援が必要となった方は、併設の養護老人ホームへの移行につなげ、環境を変えることなく、安心安全な暮らしを継続いただくことができました。

DVや虐待被害、ホームレス等、緊急保護を要する方に対しては、行政機関との連携により、速やかに一時入所を受け入れ、地域の緊急課題への対応に努めました。

新型コロナウイルス感染症の取り扱いが2類から5類に変更された後にも2回のクラスターが発生し、対応が必要となりましたが、留意しつつもコロナ禍以前の生活に戻りつつあることを感じる1年となりました。

「洛南寮式自立支援プログラム」での地域移行を推進

洛南寮では、入所者が地域での生活に移行できるよう、個々の意向や力に合わせた3段階のプログラムに基づいた支援を行っています。

ホップ～施設内就労訓練の実施～

- 紙すき製品の制作・販売及び施設内喫茶での給仕などの日中活動に加えて、食事の配膳・下膳や清掃、草刈り、野外作業等を施設内就労訓練として工賃を支給し、働くことへのモチベーションや意欲の醸成につなげました。作業内容の充実を図り、参加者数の向上に繋がりました。(参加実人数29名：延べ人数392名)
- 法人内の他施設へ、草刈り等周辺環境整備を行うよう出張作業も開始しました。



こども発達支援センターでの作業



心身障害者福祉センターでの作業



施設内清掃の様子



ステップ～SSTを取り入れた生活訓練への参加～

- 次の段階では、施設内での自立を目指したい方は「生活充実グループ」に、より地域移行への意欲が高い方は「自立グループ」に参加いただき、健康管理やお金の使い方、適切な対人関係、外出時の注意点等、グループに応じた様々なテーマで勉強会を行いました。

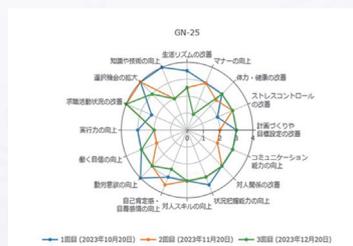
「自立グループ」は、次の「居宅生活訓練事業」へ進むメンバー育成を目指すため、SST(ソーシャルスキル・トレーニング)を取り入れたグループディスカッションを行い、対人関係やストレス対処・問題解決等のスキルを学んでいただきました。

(参加実人数35名(生活充実30名・自立5名):延べ人数290名)



グループ学習の様子

- コロナ禍で地域との関わりが減ったこともあり、就労意欲の醸成を図るため、近隣の就労継続支援B型事業所の取組みや多様な働き方の紹介を動画を活用して行うことや、利用者の意欲や取組みを「見える化」し（一般社団法人京都自立就労サポートセンターが作成された「KPSビジュアルイズツール」を活用）、強味や弱点などをグラフや数値等で客観的に評価し、それをふまえた支援の試行などを行いました。結果として、施設内就労や勉強会への参加者が増え、次年度にはさらなる充実を図るように継続取組みとしました。



GN-25 チャートの評価比較

ジャンプ～居宅生活訓練事業近隣マンションで自立生活を体験～

- 近隣の賃貸マンション2室を借りて、昨年度に引き続き2名の利用者に、より地域での暮らしに近い環境での生活を体験し、地域移行につなげる居宅生活訓練事業を実施しました。職員が、見守りとして1日3回程度訪問し、金銭管理や調理等への支援を行います。今年度は、本事業を通じて2名の方が地域での単身生活に移行されました。



居宅生活訓練の様子

精神科病院との連携強化

- 退院後に当施設に入所される場合や、当施設から入院する場合のスムーズな対応に向け連携強化に努めました。（精神科病院から14名受け入れ）

全国の学生に募集される福祉留学生を受入れ

- 令和4年度からの取組みとして、NPO法人Ubdobeが運営する「福祉留学」（全国の大学生を対象に募集し福祉に関心ある方を提携施設が短期間受け入れる事業）の提携先として登録し、受入れ学生に、福祉の仕事や京都の魅力伝えていきます。
- 今年度は、関東から看護師の勉強をしていて、保健師の仕事や精神医療分野に関心の高い学生を受け入れました。メニューとしては、洛南寮養護老人ホーム・救護施設の仕事の体験のほか、法人内の他施設への見学や、京都府内の保健所等への見学も盛り込み、幅広い内容で対応しました。（1名：10日間）



「福祉留学」の提携施設としてサイトで紹介：動画あり

京都府内におけるセーフティネットとしての役割を果たす

京都府内唯一の救護施設として、安心・安全な環境のもと、生活困窮者への支援、地域移行の推進等の役割を果たすよう努め、今年度は、病院を退院後、住む場所のない高齢者や精神障害者の方が入所するケースが増加しており、18名の入所があった一方で、地域への移行や高齢者施設への入所等で20名の退所がありました。（循環型セーフティネットの機能を発揮すべき救護施設としては、退所者数も重要な指標と考えています。）

- 年度末入所者数93名（目標95名）

京都市立東山母子生活支援施設

DV被害や虐待など身体的、精神的に様々な課題を抱えて入所された母子に対して、社会的養護を担う施設として安心・安全な生活環境を提供するとともに、地域社会で母子が自立した生活ができるよう、母子の自主性を尊重しながら、児童の健全な成長発達と母親の生活、養育、就労を支援しました。

今年度は、若年・未婚の母と乳児を積極的に受け入れ、家事・育児などに関する細やかな支援を行い、通年で定員世帯に近い入所を受け入れ、多くの母子を支援することができました。

精神疾患や発達障害を抱える母に対しては、日常生活での相談支援・医療機関への同行に加え、心理療法担当職員による心理的ケアを実施し、精神面でのサポートを行いました。また、新たに自立支援担当職員を専任配置し、地域での生活を目指す母子への支援や退所世帯を訪問・相談支援等、退所後も切れ目のない支援を行うよう努めました。

日常の暮らしから就労まで、手厚い支援で母親の自立をサポート

～安心安全な日常生活～

- 子の保育や保育所への送迎等の子育て支援、通院等の際の同行支援、居室の整理・整頓や買物代行等の家事支援等、個々の状況やニーズに応じて随時支援しました。

また、育児に不安のある若年母への支援として、モーニングコールや乳児の沐浴などの居宅内家事支援を行いました。

(子育て支援 113回、同行支援 38件、家事支援 212件)

～母子の心理的ケアの充実～

- DV被害者の母及び被虐待児の心の安定を図るため、心理担当職員による面談で心理ケアの充実を図りました。

(子9名、延べ91回 母18名、延べ181回)

～就職支援機関と連携し母親の就労を支援～

- 「京都府ひとり親家庭自立支援センター」や就業・生活支援センター等就職支援機関と連携し母親の就労を支援、障害のある母の就労にもつながりました。

(就労支援20件)



自立支援担当職員によるアフターケアの実施

- 自立支援担当職員を中心に、施設を退所し地域生活を始められた母子の転居先訪問や電話・LINEでの相談支援、行事参加への呼び掛け、寄贈品の提供等を行い、退所後の地域生活をサポートしました。

(21世帯対象訪問2件電話・LINEでの連絡、寄贈品提供延べ303回)

また退所を目指す母子に向けては、住宅確保や子の進学先、就労に関する情報提供・相談支援を行い、地域生活へスムーズに移行出来るよう支援しました。



グループ活動等を通じて児童の成長と発達を支援

- 小1～小6の児童に対しては、学童保育「ドリームクラブ」を運営し、遊びや学習などの活動を通して、児童の成長を支援しました。

(245日、延べ674名参加)

夏には、コロナ禍で中止していたキャンプを開催し、野外でのカレー作りや川遊びなど、家庭を離れた自然の中で体験ができました。(5名参加)



学童保育 学習風景

また、大学生ボランティアによる学童交流や学習支援も機会を増やすことができ、職員の関わりとは異なるアプローチでさまざまな活動を通じて、児童の成長を支援しました。

(学童交流57回、学習支援17回、延べ239名)

- 中高生に対しては、月1回のおしゃべりカフェを開催し、お菓子作りや外出等それぞれが心地よく過ごせる居場所づくりの取組みを行いました。(中高生支援：15回、延べ36名)



キャンプの様子



児童対象のデザイン講座を開催



京セラドームで野球観戦



東山FHパーティーでの
手作りお化け釣りコーナー

母子参加のイベントを通じて母子関係の構築を支援

- 親子で参加する「かるがもクラブ」では、更なる母子関係の構築や母子の心の安定を目指し、「東山ファミリーホームパーティー」での作品作りやお餅つき、カフェ等を実施しました。

(年7回、延べ96名参加)

- 乳幼児の母親を対象とした「ひよこクラブ」では、ケーキや和菓子などのスイーツ作りやリフレッシュのための外出を実施しました。子育てに関する日頃の悩みや子どもの成長への喜びなどを共有し、母親同士の交流にも繋がりました。

(6回、延べ13名参加)



母と子で参加するクッキング

子どもを守るための地域ネットワークへの参画

- 開晴館小中学校との定期的な連絡会(年6回)とあわせて施設見学会を実施し、入所児童の生活の場を知っていただく機会を設けました。その他、児童相談所、措置実施機関、その他関係機関とケースカンファレンスを行うなど、連携を密にしてよりよい支援につなげるよう努めました。

社会的養護の役割を担う施設としての役割を果たす

- 今年度は6世帯の新規入所のうち、3世帯は若年母と乳児の2人世帯を受け入れ、年間を通してほぼ定員世帯数に近い入所状況を維持することができました。

平均入所世帯数18.2世帯(目標18世帯)



「ひよこクラブ」で作ったお弁当

○ 京都市立視力障害者福祉センター

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師（以下「あはき師」）養成施設として、高い知識・技術を有するあはき師の養成を行うため、長年蓄積してきたノウハウと経験を活かし、教育訓練の充実・強化を図るとともに、拡大読書器や録音再生機等の学習支援機器の貸し出しを行うなど、利用者が安心して勉学に取り組める環境づくりに努めた結果、令和5年度あはき師国家試験において受験生全員を合格につなげることができました。

また、所内人権研修会の実施や虐待防止委員会を毎月開催するなど、障害者支援施設職員としての資質向上に職員一体となって取り組みました。

さらに、地域の方へのあん摩やはり施術の臨床実習の実施や無償のあん摩奉仕、健康講座等を開催するとともに、京都市内を中心とした福祉事務所やハローワークへの訪問等、地域での活動も積極的に行い、地域福祉への貢献のみならず、より多くの方々に対し施設のPRに取り組みました。

● 国家資格の取得・就労をスタッフ総力で支援

- 国家試験を控えた3年生に対して、模擬試験（4回/年間）や補習授業（72時間）等の学習を支援することで、受験者全員の国家資格の取得につなげました。

【受験結果】

- あん摩マッサージ指圧師
合格者3名（あん摩科：1名、はり科：2名）/合格率100%
- はり師
合格者5名（はり科：5名）/合格率100%
- きゅう師
合格者5名（はり科：5名）/合格率100%
- 卒業生の6名全員について、京都職業相談室との連携を図りながら就労支援を行った結果、1名がヘルスキーパーとしてJR関連会社、1名が治療院、1名が訪問マッサージ事業所、1名が高齢者施設、2名が就労継続支援A型（治療院）事業所のスタッフとして就職しました。



卒業式の様子

● 障害者支援施設職員としての資質向上の取組み

- 障害者支援施設職員としての資質向上につながるよう所内人権研修会を開催しました。研修会では、基本的人権について、また、障害者権利条約、障害者基本法、障害者総合支援法等について学び、利用者に対する言動に細心の注意を払いながら、絶えず福祉サービス向上のための努力を積み重ねていかなければならないと決意を新たにすることができました。（9月14日開催 参加者13名）
- 教員の資質向上を目的に、今年度も明治国際医療大学と連携し、研修会を行いました。（11月30日 参加者12名）



人権研修会の様子



明治国際医療大学との連携で開催した職員研修会「ポルトガルでの鍼医学について」の様子

あん摩奉仕や健康講座等で地域住民の健康増進に貢献

- 地域住民の健康増進とあはき師養成カリキュラムの臨床実習を兼ねて、あん摩やはり・きゅう施術を実施しました。

(あん摩臨床実習：160回/年間・422名施術、はり・きゅう臨床実習：53回/年間・321名施術)



- 地域住民を対象とした、あん摩施術の無償提供のイベント「地域あん摩奉仕」を今年度も開催しました。

(11月2日開催 参加者49名)



- 地域の方々の健康増進につなげられるよう「認知症、寝たきり防止のツボ療法」をテーマに健康講座を開催し、ツボの活用法について紹介しました。(11月29日開催 参加者4名)

体験見学会の開催等で利用者確保に努めるも減少傾向は継続

- 体験見学会を夏・秋の2回開催しました。

見学会では利用希望者に対して、施設概要説明、施設見学、あん摩・はりの実習体験や学習支援機器のデモンストレーション、個別相談等行いました。

(夏の見学会7月29日開催参加者6名/秋の見学会10月23日開催参加者4名)



施設紹介



体験コーナー（あん摩実習）



体験コーナー（はり実習）

- 京都市及び近郊の市の福祉事務所等（22箇所）に、今年度作成したPR用ポスターを職員が持参し、ニーズの掘り起こしに取り組みました。

(訪問期間：7月～9月)

その結果、令和6年4月から、あん摩科2名、はり科1名の計3名を新規利用者として迎え入れることとなりました。

利用者の減少が続く中、現状分析や課題の抽出等を行いながら、施設の機能の見直しや新たなニーズへの対応の検討などを進めています。



センターPR用ポスター
(夕焼けジャンプ)

○ 京都市立桃山学園

1 障害児入所施設

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に変更されたものの、今年度も障害児入所施設では複数のクラスターや、インフルエンザの感染拡大などを経験し、感染症対策に追われた一年でした。

一方、中止や規模を縮小しながらも開催を続けてきた各種行事は完全再開し、関係団体の協力のもと、鳥羽ライオンズクラブさんと「サマーフェスティバル」、伏見ロータリークラブさんと「わくわくワクワクデー」などを実施しました。

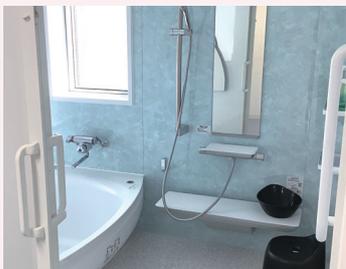
特に、秋の「第62回桃山学園祭」は、園庭での飲食も可能とし、児童・職員やボランティアの大学生によるステージ発表も実施し、関係者や地域の皆様など総勢約400名の方々にご参加いただくことができました。

生活面においては、児童を7～10名程度の小グループに分け、食事や入浴、外出、行事などを家庭的な雰囲気の中で行う「小規模グループケア」の全フロア実施に向けて、キッチンや浴室の設置工事を行い、10月～スタートさせ、徐々にグループとしての一体感が生まれてきているところです。

加えて、入所児童については、従来の重度知的障害児や強度行動障害児だけでなく愛着（アタッチメント）障害や発達障害などの児童が増える中、職員には今まで以上に専門的な知識と技術が求められるようになったことから、発達障害の専門アドバイザーに継続的にケースカンファレンスを依頼し、アドバイスをいただいたり、所管児童相談所から専門家を招いて困難案件のサポートについてアドバイスをいただくなどにより、スキルの向上に努めました。

● 小規模グループケアの本格実施

- 昨年度から女児のフロア（はなフロア）で先行実施した「小規模グループケア」を、男児のフロアでの実施に向けて、5月から9月にかけて、専用キッチンや浴室の設置工事を行い、10月からは男児フロア（もり・にこにこ）でも開始し、計3フロアでの本格実施に至りました。



完成した浴室とキッチン



炊きたてご飯
おかわりください

- 各フロアにリーダー職員を配置し、フロア毎で炊飯・食事提供するほか、調理実習や小規模グループでの外出なども可能となり、より家庭的な支援が始まりました。

- 先行して実施している他府県の事例を調査し、優れた取組みを意欲的に取り入れました。
小規模グループケアに取り組む中で、みんなでパンケーキやたこ焼きを作ったり、U.S.Jや遊園地、ボーリングや温泉に出かけたり、誕生日には近くのファミレスで夕食会を開催したりと、1人ひとりの希望を尊重し、グループごとに希望を反映しながら、家庭的な雰囲気の中暮らすことができました。



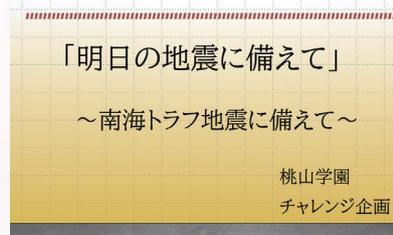
グループ外出（ボーリング）



学園の畑で育てたさつまいもを収穫
（グループ活動）

職員の更なる資質向上

- 職員の専門的な資質を向上させるため、強度行動障害従事者研修（2名）、児童発達管理責任者研修（1名）を受講するほか、児童相談所に依頼し専門家を招いて「困難事例サポート事業」を実施。対応が難しい児童ケースに対する対処方法を検討しました。
- 若手職員を中心にチャレンジチームを編制し、「桃山学園における防災対策」について調査分析を行いました。この成果をベースに令和6年度は「桃山学園総合防災訓練」を実施することとしています。
- 当園で発生した虐待事案から、8年が経過したことから虐待防止の歩みを止めないよう令和4年度から実施している「桃山学園人権擁護研修会」（講師：日本知的障害者福祉協会 前人権・倫理委員長）については、今年度も3回実施しました。具体的な事例を用いたグループワーク形式での研修会は、職員にとって極めて有意義な研修の場になっており、次年度も継続的に実施していきます。



チャレンジチームによる発表

高等部卒業児童への進路指導

- 八幡支援学校や児童養護課配置の自立支援担当職員とも連携し、6名の高等部卒業児童の進路指導を支援した結果、無事に全員の進路が決定しました。従来の成人施設への入所や福祉就労だけでなく、今年度は企業就労に2名の児童が進むことができました。

保護者のつどい（桃山懇談会）の開催

- 新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類になった事に伴い、保護者との面会や外出も可能とする中、保護者を集めた「保護者のつどい」を開催しました（7月）。12家族18名の参加をいただき、学園の事業計画や各種取り組みなどを報告するなど、児童・保護者と職員との交流を深める機会となりました。

新規受け入れ児童4名、退園児童6名で前年度並みの利用状況

- 自治体から措置される児童と、ご家族との契約による入所とで新規に4名を受け入れた一方、高等部卒業に伴い6名の児童が退園しました。

年度末在籍児童数23名（目標：25名）

定員変更及び事業の変更

- 小規模グループケアを導入したことに伴い、定員を変更しました。
変更前30名
変更後27名
- 児童福祉法の改正に伴う運営事業の経過措置期間終了により成人対象事業を廃止（施設としては児童対象施設に特化）しました。

施設入所支援事業・生活介護事業 廃止



2 児童養護施設

新型コロナウイルス感染症の類型変更に伴い、日常が徐々に戻りつつある中で、「第62回桃山学園祭」（11月）は、昨年度と比較して地域住民、卒園生等にも参加いただくまでに拡大して開催することができました。多くの卒園生が来園し、久しぶりの再会となり近況を知ることができました。その他、さまざまな行事や外出等も再開することができ、児童にとっては行動範囲が広がりました。

支援においては、昨今、児童養護施設に求められている入所児童の早期家庭復帰や里親委託等の推進、親子関係の再構築や、児童の自立支援及び健全育成などを課題として取り組みました。

特に、試行を含め着手して3年目となる「あたり前の生活体験事業」（施設内の個室で、兄弟や担当職員のみで行う体験宿泊事業）[桃山学園独自事業]では、5名の児童が家庭生活を疑似体験しました。

また、これまでは高校卒業後、即自立生活を送ることを余儀なくされた児童が多い中、様々な課題が明らかになったことから、卒園間近となる高校3年生に対して、施設外のマンションでの一人暮らし体験を通じて自立支援に向けての準備や練習の機会とする取組み（自立支援事業）を行い、1名の児童の地域移行を支援しました。

職員の資質向上に向けて、併設の障害児入所施設とともに、人権擁護、虐待防止についての研修（「桃山学園人権擁護研修会」講師：日本知的障害者福祉協会 前人権・倫理委員長）を、3年という長期スパンの中間年として取り組み、職員の人権意識の向上に繋がりました。



戻りつつある学園祭

「あたり前の生活体験事業」の実施

～より小集団でより個別的な関わりを子ども達に～

- 家族との生活について経験や記憶が乏しい児童を対象に、施設内の日常生活エリアから離れた場所で、職員と宿泊してプレ家庭生活を体験する「あたり前の生活体験事業」が3年目となりました。

今年度は、幼児から中学生までの幅広い児童5名が体験しました。

集団で過ごすことが日常的になっている児童と個別に関わる機会を設けることで、普段見ることの出来ない表情や子どもの等身大の姿がそこにはありました。体験をとおして、職員との関係性も深まり、家庭生活のイメージを体験することができました。

次年度以降も施設内外での実施に向けて、事業を進めていきたいと考えています。



“自分”で炊いたご飯は格別！

自立支援担当職員の配置によるアフターケアの実施

- 社会的養護施設に配置が認められた自立支援担当職員を新たに配置し、卒園を控えた児童に対して、安定した社会生活を送ることができるよう、担当職員やその他の職種職員と連携するとともに、児童との個別面談を通して自立に向けての不安や相談にあたり準備しました。

自立生活支援事業と自立支援担当職員で卒園後の自立生活を支援

～卒園後のスムーズな自立生活に向けて～

- 高校卒業後、就職や進学といった進路選択をする中で、施設を卒園して自立後に、経験不足等から様々な問題に直面し苦慮する児童の状況が課題でした。そのため、今年度から自立生活支援事業として、近隣の民間経営のマンションを借りて一人暮らしを短期間体験してもらう「自立生活支援事業」を行いました。(対象:1名) 食事や洗濯、買物から金銭管理、引越しに関わる手続きなど、職員によるサポートも受けながらも体験し、無事に卒園・地域での生活の移行につなげることができました。
- 今年度から、新たに自立支援担当職員を配置したこともあり、日々の業務として自立支援計画作成等の場面においての助言や進行管理に加え、個別面談を通して自立に向けた相談支援や継続的な状況把握及び支援に努めました。
これまで施設卒園後はすぐに自立生活となることが大半でしたが、今後は一人暮らし体験を経験した後に本番の一人暮らしを行うという“ワンクッション”を挟むことができるよう、この事業の継続・発展に繋げ、児童自身のスムーズな社会生活に移行できるよう取り組んでいきたいと思っております。



よりリアルな一人暮らし環境の提供

ホームステイ里親制度の活用

～可能な限り家庭生活の体験を～

- 様々な家庭事情から社会的養護の枠組みの中で暮らす児童に対して、施設養護から家庭養護へといった法制度の流れも踏まえ、施設養護では得られない体験が必要な児童については、児童相談所と連携して「週末（ホームステイ）里親制度」の活用も推進しています。
昨年度から継続実施している当制度を今年度も継続実施しており、家庭生活の経験を積み重ねています。里親との関係構築の様子も見られ、今後の支援方針を検討するきっかけにもなりました。様々な境遇を経て施設入所に至った児童には可能な限り家庭生活を体験してもらうことを目的に、本制度の活用を今後も進めていきたいと考えています。

関係機関企業との連携

～働くことの楽しさを知るために～

- これまでも日々子ども達との交流や就労体験実習をとおして、京都中小企業家同友会と協働してきた経過がありました。
今年度に関しても、引き続き取組みを行う中で、近い将来の自立を見据えた就労に向けた体験機会を設けました。
働く体験といった機会の提供はもちろんのこと、収入を得るためだけの就労ではなく、就労をとおして感じられる働くことの楽しさについても実習をとおして子ども達に伝えてくださっています。
また、受け入れ企業において、そこで働く従業員お一人おひとりの人柄に触れ、モデルとしての大人像を感じることができるとも考えています。



就労体験を報告する児童

子育て支援短期利用事業

～地域の子育て支援の一翼を～

- 児童相談所と連携しながら、支援を必要とする児童を迅速に受け入れるとともに、より緊急度の高い一時保護児童に関しても可能な限り受け入れを行ってきました。
加えて、近隣市町と子育て支援短期利用事業の契約を締結し、緊急時対応やレスパイト目的等の短期入所利用を受入れ、地域の子育て支援に努めました。

- 年度末入所者数28名（目標28名）



○ 京都市立こども発達支援センター

これまでに引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めるとともに、児童福祉法改正による児童発達支援センターや放課後等デイサービス事業の見直しが必要となる中、京都府とともに当センターの在り方の検討をスタートさせた1年でした。

診療部門では、初診診察数の増加に努めたものの、診療希望者数の更なる増加により、初診予約の待機期間短縮にはつながりませんでした。こうした発達障害児診療へのニーズ増への対策の一つとして、京都府と「発達障害児支援医療・保健・福祉・教育等連携強化事業」（R4～継続）として、地域医療体制の構築や教育機関との連携に取り組み、学校との情報共有方法を整理するところまで達成しました。

また、当センターの対象児童が成長した後も、心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院へ支援を継続できるようセラピスト間で移行推進の取組みや、医療的ケア等コーディネーターの配置・栄養食事指導の導入等、様々なニーズに対する取組みも開始しました。

通園部門（児童発達支援）では、家庭と連携した療育をめざし、児童の発達状況や年齢等を考慮しながら、とりまく家庭環境も配慮し、一人ひとりに応じた登園頻度で療育を受けていただくよう取り組みました。また、各市町村との連携会議を実施し、当センター事業への理解促進や地域ニーズ等情報共有を図ったことで、新規の通園希望の増加につながりました。

通所部門（放課後等デイサービス）では、引き続きSST（ソーシャルスキル・トレーニング）を導入したプログラムでの支援を行うとともに、企業との連携のもと「整容と身だしなみ」をテーマとした「こども学習会」を開催するなど、支援の充実に努めました。

地域支援部門では、医療的ケア児の相談窓口設置など相談対応体制の整備や、地域の支援会議へ参加して地域資源に関する情報収集に努めました。また、保育所等訪問支援事業による学校や保育所等へ訪問を通じて、関係機関との協働支援や、後方支援に努めました。障害児相談支援事業では、引き続き丁寧な相談対応に努めるとともに地域の療育施設への同行訪問や相談支援事業所等への情報提供を行いました。

● 新たな児童発達支援センターとしてのあり方を検討

- 令和6年度から、児童発達支援センターの機能や報酬について大幅な変革が予定されていることから、事前に経緯や方向性への理解を深めるため、厚生労働省の「障害児通所支援に関する検討会」で座長を務められた立命館大学の田村和宏教授を講師に迎えて、勉強会を開催しました。



6/8 勉強会の様子

● 0歳児の受入れや通園児保護者のニーズへ対応

- お子さんの発達状況や年齢、就労やご家庭の事情等を最大限に考慮し、0歳児の受け入れの開始（3名）や、低年齢児の週1回登園の導入等、保護者からのニーズに対応し、通園率アップにつながるよう取り組みました。
- 各市町村との連携会議を実施し、保健師との情報共有（ニーズ調査含む）を行い、当センターの実施事業への理解促進を図った上で、必要なタイミングでの通園案内をお願いしたところ、通園の見学希望が増え（63名）、新規入園につながりました。（30名）



保健師との連携会議の様子

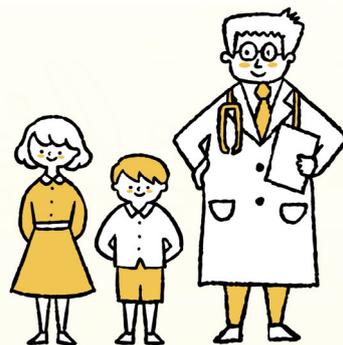
● 居宅訪問型児童発達支援の本格稼働に向けて

- 関係機関との情報共有や事業実施のPRを行い、家庭の事情を考慮しながら、受け入れに向けて協議・調整しましたが（2件）、実施には至りませんでした。

初診待機児への抜本的な対応に向けて

- 診療希望者は年々増加傾向にあり、当施設への初診予約状況の待機期間も長期化して、その解消には稼働率を上げる以上の抜本的な対応が必要と考え、京都府の「発達障害児支援医療・保健・福祉・教育等連携強化事業」を行い（R4～継続）、専門医の育成と地域医療体制の構築や教育機関等との連携に取り組みました。

その結果、教育機関において記載いただく、初診時における情報提供用紙とアセスメントシートの様式を作成し、その利用を呼び掛けるよう取り組みました。



診療所での栄養食事指導の導入

- 以前より通園や診療に来られたお子さんへ管理栄養士による栄養相談を実施していましたが、令和5年度からは、診療所医師の指示で行う管理栄養士による栄養食事指導を導入しました。栄養食事指導では、3日間の食事記録の栄養評価を行い、摂食嚥下調整食（ペースト食など）の調理方法、肥満の食事、発達障害児の過度な偏食への対応など個々に合わせた指導を行いました。（延べ19件）



摂食嚥下調整食
（ペースト食）



レシピ動画を利用した調理指導

障害「児」から障害「者」への切れ目のない支援をめざして

- 当センターでの支援が終了となる18歳以降も切れ目なく必要な支援が継続されることをめざして、法人内の心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院との連携についての検討を継続して行いました。附属リハビリ病院への移行パンフレットを作成し、対象利用者へ配布しました。

障害児通所施設への専門職員派遣による地域療育支援

- 京都府南部地域で障害がある児童を支援されている療育施設に対して、当センターのセラピスト（理学療法士・作業療法士・言語聴覚士）の派遣を行い、訪問先の支援者にご利用されている児童の課題整理や支援方法について一緒に考え、地域の療育支援拡充に努めました（3事業所）。また、圏域内の療育施設を対象に「発達障害に関わる支援者に必要な視点」をテーマにweb学習会を実施し、専門職員から日常生活や療育場面で使える支援のアイデアをお伝えしました。（参加者6名）

医療的ケア児に係る相談支援の開始

- 医療的ケア児等コーディネーターの資格を持つ職員が、主に通園児や診療所の外来児を対象に、医療的ケアが必要なお子さんやその家族が安心して過ごせるよう、必要な支援や福祉サービス等について相談調整を行う取組を開始しました。



○ 京都市発達障害者支援センター

京都市内における発達障害相談支援体制の強化を目指し、京都市内6か所の圏域支援センター・地域支援マネージャーと連携し、巡回を通して各圏域の現状の把握と課題の整理を行い、それぞれの地域で求められる発達障害者支援を検討しました。また、相談支援を基とした発達障害支援事業を実施するとともに、医療・教育・福祉など専門職を対象に発達障害に関する理解を深める専門職研修を開催しました。また、法人内の福祉施設におけるケース会議に参加し、発達障害のある利用者への対応へのアドバイスや支援全般へのスーパーバイズ、研修での講義等、専門職としてのスキルを積極的に発揮するよう努めました。

「こども相談室」においては、本人・保護者の相談支援を行い、必要に応じて担当主治医との連携、教員とのケース会議を実施しました。また、市内3か所ある発達障害児支援拠点連携会議を行い地域の現状や課題を共有し、今後の発達障害児支援の意見交換をしました。

京都ジョブパーク内の「ゆっくり相談コーナー」では、就労の難しい求職者に対して個別相談への対応を行うほか、キャリアカウンセラーへのスーパーバイズを行いました。

● 圏域支援センターへの巡回による地域課題の整理

- 圏域支援センターへの地域支援マネージャー配置に伴い、圏域支援センターに対する巡回を生かし、各圏域の現状把握と課題整理をすすめました（6圏域にて各3回/年+連絡会議南北各1回）。巡回では、圏域支援センター・圏域保健所・京都市と4者で圏域の地域把握に努めニーズや課題を点検し、地域支援マネージャーとしての事業展開を検討しました。

また、京都市南部3圏域（乙訓・山城北・山城南）で交流会を開催し、継続して検討していた地域課題である居場所支援事業を合同で実施しました。

● 保護者支援を推進

- ペアレント・メンター（自らも発達障害のある子育てを経験し、かつ相談支援に関する一定のトレーニングを受けた親）派遣事業として、地域の放課後等デイサービス保護者交流会など保護者支援の場へ、依頼を受けてメンター派遣（4回）を実施しました。

思春期の保護者を対象としたペアレント・トレーニングについて、地域の事業所から依頼を受けて合同で実施しました。

また、こども相談室では保護者同士のつながりを目的に保護者交流会「つながりタイム」を実施（年3回）しました。

● 大学の「学生相談室（障害学生支援室）」との連携推進

- 大学の「学生相談室（障害学生支援室）」を訪問（5か所）し、相談しやすいシステム構築に向けて、発達障害者支援センターの機能やネットワークを紹介するなど、担当者との情報交換を行いました。

● 大学・大学院との連携による専門性の向上

- 京都教育大学からは、専門職研修（教育・福祉）「発達障害のこどもの指導に必要なアセスメントと声掛け」の講師として、発達障害児支援に関する普及・啓発にご協力いただきました。

京都大学課題解決型高度医療人材プログラム（ASDプロジェクト）に参画し、フォローアップ研修の受講、SV等受けました。また、佛教大学からは保護者へのペアレント・トレーニングについてスーパーバイズを受けました。

● 発達障害に係る相談支援の実施

- 相談人数（実支援数）362名（うち子ども相談室への相談96名）
- 相談件数（延べ支援数）1,570件（うち子ども相談室への相談608件）



● 専門職研修の実施

● 専門職研修（医療）

2023年11月5日(日)「発達障害とゲーム・インターネット ～「嗜癖」かなと思ったら～」
愛知県医療療育総合センター中央病院 子どものこころ科（児童精神科） 部長 吉川 徹 氏

● 専門職研修（教育・福祉）

2023年7月30日(日) 「発達障害のこどもの指導に必要なアセスメントと声掛け」
京都教育大学 発達障害学科 准教授 佐藤 美幸 氏



関連資料

管理運営施設の概要	32
職員状況	34
社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿	35
理事会・評議員会開催状況	36
職員研修実績	37
各施設外部派遣研修参加実績	38
各施設実習生受入実績	41
利用満足度アンケート調査結果について	42
苦情対応状況	54
ヒヤリハット・事故集計状況	56
各施設関連資料	
(1) 本部事務局	57
(2) 心身障害者福祉センター	60
(3) 洛南寮	67
(4) 東山母子生活支援施設	72
(5) 視力障害者福祉センター	75
(6) 桃山学園	78
(7) こども発達支援センター	83
(8) 発達障害者支援センター	88

管理運営施設の概要

(1) 指定管理施設

施設名称	所在地	施設種別及び事業内容	定員	受託年月日	設立年月日
京都府立心身障害者福祉センター (所長：高橋 謙治)	城陽市中芦原	障害者支援施設 ・生活介護 ・自立訓練(生活訓練) ・施設入所支援 ・短期入所(空床型) ・一般・特定相談支援事業 体育館 附属リハビリテーション病院	50名 50名 10名 50名 1名 — 病床数25床	昭和52年8月2日 昭和58年11月1日	昭和53年4月1日 昭和58年11月1日 昭和57年4月1日
京都府立洛南寮 (寮長：岡本 稔子)	京田辺市大住仲ノ谷14-1	養護老人ホーム ・一般型特定施設入居者生活介護事業 救護施設	100名 (30名) 100名	昭和57年8月1日	昭和22年2月28日
京都府立東山母子生活支援施設 (施設長：宮崎 佳子)	京都市東山区清水四丁目185-1 (京都府立家庭支援総合センター内)	母子生活支援施設	20世帯	昭和58年4月1日	昭和22年1月15日
京都府立視力障害者福祉センター (所長：松本 勲)	京都市左京区下鴨森本町21	障害者支援施設 ・就労移行支援(養成施設) ・施設入所支援 ・特定相談支援事業	60名 60名 40名	昭和58年11月1日	昭和23年7月1日
京都府立桃山学園 (園長：畑段 隆浩)	京都市伏見区桃山町遠山50	障害児入所施設 ・福祉型障害児入所施設 ・短期入所(空床・併設型) ・日中一時支援事業 ・生活介護 ・施設入所支援 ・一般・特定相談支援事業 児童養護施設	30名 27名 1名 30名 (短期利用事業含む)	昭和59年4月1日	昭和23年10月31日 昭和29年4月1日
京都府立こども発達支援センター (所長：平井 清)	京田辺市田辺茂ヶ谷186-1	児童発達支援センター ・福祉型児童発達支援 ・医療型児童発達支援 ・児童発達支援事業(重症心身障害児) ・保育所等訪問支援 ・放課後等デイサービス ・障害児相談支援 ・居宅訪問型児童発達支援 診療所	30名 30名 1日5名 — 1日10名 — —	平成15年8月1日	平成15年10月1日

※ 平成18年6月1日より全施設の管理代行者として、管理・運営を行う。

(2) 受託事業実施施設

施設名称	所在地	施設種別	定員	受託年月日	設立年月日
京都府発達障害者支援センター (センター長：渡邊 由佳)	京都市伏見区竹田流池町120 (京都府精神保健福祉総合センター内)	-	-	平成19年4月1日	平成19年10月29日
子ども相談室 (室長：渡邊 由佳)	京田辺市田辺茂ヶ谷186-1 (子ども発達支援センター内)	-	-	平成30年10月1日	平成30年10月1日

令和6年3月31日現在

管理財産等の内容

(1) 指定管理施設

施設の名称	土地	建物	
		建物延べ面積	専有面積
京都府立心身障害者福祉センター	56,151.61㎡	11,059.87㎡	-
京都府立洛南寮	11,295.00㎡	6,316.84㎡	-
京都府立東山母子生活支援施設	-	-	1,305.63㎡
京都府立視力障害者福祉センター	3,888.12㎡	3,664.99㎡	-
京都府立桃山学園	12,709.27㎡	4,134.39㎡	-
京都府立子ども発達支援センター	9,577.67㎡	2,077.63㎡	-

職員状況

(ア) 職員数

(単位：名)

区分 施設名	常勤職員					小計	非常勤職員		小計	合計
	総合・地域	再雇用	府OB	府派遣	フルタイム 嘱託職員		再雇用	嘱託職員		
本部事務局	8	3	1		4	16		0.090	0.090	16.090
心身障害者 福祉センター	28	2	2		4	36	2.4	3.900	6.300	42.300
附属リハビリ テーション病院	32	4	1	1		38		5.915	5.915	43.915
洛南寮	34	3	1		9	47		4.021	4.021	51.021
東山母子 生活支援施設	7				3	10		1.517	1.517	11.517
視力障害者 福祉センター	11	1	1		1	14		2.030	2.030	16.030
桃山学園	25	1	2		9	37		1.810	1.810	38.810
こども発達 支援センター	38	1	1	1	12	53		5.157	5.157	58.157
発達障害者 支援センター	4	1			1	6		0.000	0.000	6.000
合計	187	16	9	2	43	257	2.40	24.440	26.840	283.840

※令和6年3月31日現在

※非常勤職員は、常勤（週40時間）換算

※理事長、常務理事は含めない。

※附属リハビリテーション病院については、宿直医は含めない。

(イ) 勤続年数別職員数（総合・地域職員）

(単位：名)

3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	平均 勤続 年数	合計
38	22	48	42	18	19	11.5	187

(ウ) 年齢構成別職員数（総合・地域職員）

(単位：名)

22歳以下	23歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上	平均 年齢	合計
3	42	30	57	48	7	41.5	187

社会福祉法人京都府社会福祉事業団役員名簿

令和6年3月31日現在

職 名	氏 名	備 考
理 事 長	中 本 晴 夫	
常 務 理 事	中 西 正 和	
理 事	磯 彰 格	(福) 南 山 城 学 園 理 事 長
”	禹 満	京 都 府 医 師 会 副 会 長
”	高 橋 謙 治	京 都 府 立 医 科 大 学 教 授
”	中 井 敏 宏	(福) 京 都 府 社 会 福 祉 協 議 会 常 務 理 事
”	則 枝 勝 也	(福) 京 都 府 社 会 福 祉 事 業 団 京 都 府 立 心 身 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 障 害 者 支 援 施 設 長
監 事	大 槻 明 司	京 都 府 民 間 社 会 福 祉 施 設 職 員 共 済 会 常 務 理 事
”	和 田 司	公 認 会 計 士
評 議 員	有 賀 や よ い	精 神 科 医
”	空 閑 浩 人	同 志 社 大 学 大 学 院 社 会 学 研 究 科 教 授
”	杉 原 優 子	元 京 都 府 介 護 福 祉 士 会 会 長
”	鈴 木 俊 彦	日 本 赤 十 字 社 副 社 長
”	高 桑 勝	京 都 府 老 人 福 祉 施 設 協 議 会 副 会 長
”	徳 川 輝 尚	全 国 身 体 障 害 者 施 設 協 議 会 顧 問
”	戸 田 雄 一 郎	元 京 都 府 保 健 福 祉 部 長
”	豊 田 久 美 子	京 都 府 看 護 協 会 会 長
”	松 井 道 宣	京 都 府 医 師 会 会 長

(各50音順に記載)

理事会・評議員会開催状況

(ア) 理事会

区分	開催年月日	開催場所	出欠状況	議案
第117回理事会	令和5年6月9日（金）	京都府立総合社会福祉会館	出席理事 7名 欠席理事 0名 出席監事 1名 欠席監事 1名	第1号議案 令和4年度事業報告 第2号議案 令和4年度決算 第3号議案 理事、監事及び会計監査人の選任 第4号議案 評議員候補者の推薦 第5号議案 施設長の任免 第6号議案 給与規程の改正 第7号議案 経理規程の改正 第8号議案 社会福祉法人きょうとキャリアサポートへの参画 第9号議案 第40回評議員会の招集 原案のとおり議決された
第118回理事会	令和5年6月26日（月）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 6名 欠席理事 1名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 理事長及び常務理事の選定 第2号議案 会計監査人の報酬 原案のとおり議決された
第119回理事会	令和5年8月28日（月）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 5名 欠席理事 1名 出席監事 1名 欠席監事 1名	議決事項なし
第120回理事会	令和5年9月26日（火）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 5名 欠席理事 2名 出席監事 2名 欠席監事 0名	議決事項なし
第121回理事会	令和5年12月26日（火）	京都府立総合社会福祉会館 (WEB会議)	出席理事 7名 欠席理事 0名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 苦情解決第三者委員の選任 原案のとおり議決された
第122回理事会	令和6年3月15日（金）	京都市子育て支援総合センター	出席理事 6名 欠席理事 1名 出席監事 2名 欠席監事 0名	第1号議案 令和5年度補正予算 第2号議案 令和6年度事業計画及び当初予算 第3号議案 組織規程等の一部改正 第4号議案 理事の選任 第5号議案 施設長の任免 第6号議案 役員等賠償責任保険契約の締結 第7号議案 第41回評議員会の招集 原案のとおり議決された
書面決議	令和5年8月15日（火）	—	—	第1号議案 理事の選任 原案のとおり全員の同意を得た
書面決議	令和5年12月1日（金）	—	—	第1号議案 理事長の職務執行 原案のとおり全員の同意を得た

(イ) 評議員会

区分	開催年月日	開催場所	出欠状況	議案
第40回評議員会	令和5年6月26日（月）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員 7名 欠席評議員 2名	第1号議案 令和4年度決算 第2号議案 理事、監事及び会計監査人の選任 原案のとおり議決された
第41回評議員会	令和6年3月25日（月）	京都府立総合社会福祉会館	出席評議員 8名 欠席評議員 1名	第1号議案 令和5年度補正予算 第2号議案 令和6年度事業計画及び当初予算 第3号議案 理事の選任 原案のとおり議決された
書面決議	令和5年8月25日（金）	—	—	第1号議案 理事の選任 原案のとおり全員の同意を得た

監事監査実施状況

区分	実施年月日	実施場所	監査事項
監事監査	令和5年6月1日（木）	京都府立総合社会福祉会館	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度の理事の業務執行について 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示していること 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められないこと 計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示していることを認められた。

職員研修実績

研修区分	研修名	実施状況	研修内容
共通研修	虐待防止研修Ⅰ	対象者：全職員（正規職員・フルタイム嘱託職員） 開催日：令和5年7月～令和5年10月 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：198名	講師：E-care labo（イーケアラボ） 福嶋 潤一 氏 テーマ：「虐待・身体拘束」 ・虐待の基礎知識 ・身体拘束
	メンタルヘルス研修	対象者：全職員（正規職員・フルタイム嘱託職員） 開催日：令和6年1月～令和6年2月 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：210名	講師：中央労働災害防止協会 健康推進部 研修支援センター 支援課 課長補佐（心理相談員/ヘルスケア・トレーナー/認定健康心理士） 山口 英郎 氏 テーマ：「ストレスと上手につきあおうリラクゼーションのすすめ」
	人権研修	対象者：全職員（正規職員・フルタイム嘱託職員） 開催日：令和5年12月 会場：オンライン（動画視聴型） 参加者数：194名	講師：親雨企画室代表 渡辺 毅 氏 テーマ：「全国水平社創立100年 その歴史的意義」
	実践・研究発表会	対象者：全職員 内定者 OB職員 外部関係者 開催日：令和6年2月6日（火） 会場：京都府総合社会福祉会館（ハートピア京都）3階 大会議室 オンライン（「ZOOM」を使用したライブ配信型）と対面型のハイブリッド方式	【発表テーマ】 1. 「他施設間とのリハビリテーションの連携について」 発表者：心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 理学療法士 大野 篤史 2. 「生活訓練事業所ひまわり魅力増進計画～高次脳機能障害に特化した生活訓練事業所における効果的な訓練プログラムの構築に係る考察～」 発表者：心身障害者福祉センター生活支援事業所ひまわり 総括主任 作業療法士 植田 仁美 課長補佐 生活支援員 保富 勢津子 業務推進役 生活支援員 喜多 早百合 心身障害者福祉センター施設長 則枝 勝也 3. 「救護利用者を対象にした就労に係る働きかけによる効果について」 発表者：洛南寮 救護施設 生活支援員 平石 征熙 生活支援員 大村 佳鈴 生活支援員 中村 智代 4. 「明日の地震に備えて～南海トラフ地震に備えて」 発表者：桃山学園 障害児入所施設 児童支援員 村井 将也 保育士 大塚 亮 5. 「脳性麻痺児の歩行能力に関するトレッドミルトレーニングの有効性について」 発表者：こども発達支援センター 理学療法士 河合 美佑 理学療法士 荒木 誠吾 理学療法士 小崎 憲博 小児科医 平井 浩 6. 「新規口腔疾患診断技術の開発と医科歯科連携」 発表者：心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院 歯科医師 足立 哲也 7. 「小規模グループケア事業について」 発表者：桃山学園 障害児入所施設 保育士 村上 裕美 児童支援員 中島 諒 保育士 大塚 亮 8. 「当たり前の生活体験事業・一人暮らし体験 ～七転び八起き～」 発表者：桃山学園 児童養護施設 児童支援員 延友 賢弥 児童支援員 田中 絹恵
	エルダー職員研修・座談会	対象者：エルダー職員・メンター職員 開催日：令和5年8月2日 会場：オンライン 参加者数：14名	講師：株式会社リンクアンドモチベーション エグゼクティブディレクター 極原 洋平 氏 （研修）新人職員との関わり方について （座談会）OJT指導における悩み・困り事について 新規採用職員育成システムにおける疑問点・改善点について
階層別研修	新規採用職員研修	第1回 対象者：新規採用職員 開催日：令和5年4月3日 会場：京都府立総合社会福祉会館4階「第5会議室」 参加者数：21名	講師：本部事務局 業務指導推進役 岩本 俊也 テーマ：「法人概要・中期運営計画について」 講師：本部事務局 業務指導推進役 伊藤 勝敏 テーマ：「福祉施設で働く上での心構え」 講師：本部事務局 業務指導推進役 森口 哲次 テーマ：「コンプライアンス（法令遵守）について」 講師：本部事務局 事業・企画課 事務職員 土田 桃子 テーマ：「人材育成について」 講師：本部事務局 総務課 総括主任 久保田 真実 テーマ：「給与・休暇制度・福利厚生について」 講師：本部事務局 事業・企画課 次長 川端 延子 テーマ：「入職してチャレンジしてみたいこと」（グループディスカッション）
		第2回 フォローアップ研修 対象者：新任雇職員 開催日：令和5年6月27日（火） 会場：洛南寮 集会室 参加者数：22名	講師：明治国際医療大学 扇田 千代 氏 テーマ：「施設における感染対策について」 【講義】施設における感染対策について 【実技】個人防護具の着脱方法・手指消毒 意見交換会（グループワーク） ファシリテーター：本部事務局 総務課 久保田 真実 テーマ：「入職からの2か月を振り返って」
		第3回 フォローアップ研修 対象者：新任雇職員 （第1回） 開催日：令和5年11月1日 会場：茶づな お茶と宇治のまち歴史公園「講座会議室B」 参加者数：14名 （第2回） 開催日：令和5年11月7日 会場：茶づな お茶と宇治のまち歴史公園「講座会議室B」 参加者数：15名	講師：本部事務局 事業・企画課 川端 延子 テーマ：「新任雇に求められる力・キャリアパスについて」 体験学習「きき茶体験」 グループワーク「宇治散策」 講師：心身障害者福祉センター 施設長 則枝 勝也 テーマ：「法人・事業所としての地域貢献」

各施設外部派遣研修参加実績

施設名	施設種別	参加研修数	参加延べ人数	研修内容等
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	21	27名	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉現場におけるケース記録の書き方 ・OJTリーダー養成研修(府社協) ・強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)(京都府) ・相談支援従事者初任者研修(京都府) ・「あなたのその重い伝わっていますか 会話力要約力」 ・メンタルヘルス&アンガーマネジメント研修 ・チームビルディングの視点から学ぶチーム運営セミナー ・対人援助の基本姿勢・相談面接技術セミナー ・障害者虐待防止・権利擁護研修(京都府) ・リーダー研修(府社協) ・モチベーションマネジメント研修 ・ブランディングから始める広報のススメ ・京都府防災士養成研修(京都府) ・福祉サービス苦情解決セミナー(府社協) ・介護福祉士指導者養成研修 ・言葉による抑制～スピーチロック～ ・全障協群馬大会 分科会発表 ・近障協和歌山大会 分科会発表 ・社会福祉セミナー(京都府) ・専門性を向上させる研修(府社協)
	障害者支援施設(ひまわり)	20	37名	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県高次脳機能障害支援専門研修 ・日本高次脳機能障害学会 ・相談支援従事者初任者研修(府社協) ・全国障害者リハビリテーション研究集会 ・高次脳機能障害支援コーディネーター全国会議 ・高次脳機能障害支援普及連絡協議会 ・脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会 ・宝塚高次脳機能障害交流会
	相談支援事業所 TOMO	9	9名	<ul style="list-style-type: none"> ・城陽市障害者自立支援協議会サービス調整部会(3回/年) ・区分認定調査員フォローアップ研修(WEB) ・高次脳機能障害入門講座4回(京都市リハセン)(WEB) ・城陽市市民講座(鬱の認知行動療法について)(WEB)
	附属リハビリテーション病院	21	42名	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府高次脳機能障害医療関係者等研修会 ・認知症対応に関わる医療・介護連携強化研修 ・看護補助差の活用推進のための看護管理者研修 ・高齢者臨床への神経心理学的支援 他
洛南寮	養護老人ホーム	6	16名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国老人福祉施設大会・研究会議 ・全国老人福祉施設協議会ICT導入普及研修・経営戦略セミナー ・近畿老人福祉施設協議会研修 ・京都府老人福祉施設協議会養護軽費部会研修 ・京田辺市普通救命講習 他
	救護施設	18	24名	<ul style="list-style-type: none"> ・近畿救護施設協議会研修 ・全国救護施設協議会研修 ・京田辺市普通救命講習 ・京都府社共事例研修 他

東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	24	35名	<ul style="list-style-type: none"> ・全国母子生活支援施設職員研修会 ・DV被害者支援専門研修 ・全国及び近畿母子生活支援施設研究大会 ・全社協ファミリーソーシャルワーク研修 ・児童福祉施設職員研修 他
視力障害者福祉センター	障害者支援施設	11	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会主催「福祉サービス苦情解決事業セミナー」 ・障害者支援課主催「合理的配慮提供説明会」 ・相談支援従事者現任研修 ・近畿盲学校教育研究会 ・京都市特定給食施設等講習会
桃山学園	障害児入所施設	30	66名	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援アセスメントツールBWAP2の活用方法 ・野外活動・スポーツ研修会 ・福祉職のためのマナー研修 ・超！入門 自閉症支援講座 ・キャリアアップ研修(チームリーダー) ・性教育全国大会 ・生きるを伝える～生と性の教育 ・強度行動障害支援者養成研修(基礎) ・近畿地区知的障害関係施設職員研修会 ・キャリアアップ研修(初任者) ・高次脳機能障害 入門講座 ・福祉サービス苦情解決事業セミナー ・全国的障害福祉関係職員研究大会 ・障害者虐待防止・権利擁護研修 ・全国児童発達支援施設運営協議会 ・PECS レベル1ワークショップ ・オレンジプログラム・インストラクター養成研修 他
	児童養護施設	21	31名	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人基礎力向上研修 ・近畿児童養護施設研修協議会 奈良大会 ・全国児童養護問題研究会 大阪大会 ・支援学校高等部からの進路について ・京都府児童福祉施設職員 水泳指導者研修会 ・京都府RIFCR研修 ・教育機関・児童福祉関係職員合同研修 ・西日本児童養護施設職員セミナー ・福祉ビジョン21世紀セミナー ・近畿児童養護施設研修協議会 職員研修会 ・全国児童福祉安全委員会全国大会 ・全国児童養護施設長研究協議会(兵庫大会) ・退所児童等支援事業連絡会オンラインサロン ・福祉事務所職員等と母子生活支援施設職員合同研修会 ・児童養護施設などの高機能化・多機能化に向けた人材育成研修 ・児童福祉施設職員研修「ライフストーリーワークを学ぼう」

こども発達支援センター	児童発達支援センター (福祉型・医療型)	15	18名	<ul style="list-style-type: none"> ・佛教大学 社会福祉施設実習研修会 ・地域高齢者等栄養管理支援のための連携推進研修会 (特定給食施設等従事者研修会)/山城北保健所 ・宇治市乳幼児教育・保育協働研修会 ・令和5年度 第2回木津川市自立支援協議会 障害児通所支援部会 ・医療的ケアを昼用とする障がい児者の支援に関する研修 ・第58回近畿地区 知的障害関係施設職員研修会 ・一般社団法人 全国児童発達支援協議会 第30回 中四国・九州ブロック職員研修会 広島大会 ・近畿肢体不自由児療育施設連絡協議会 言語部会研修会 ・第58回日本理学療法学会学術研修大会 ・令和5年度医療的ケア児等コーディネーター等支援者養成研修 事例検討による学習会 (宇治市早期療育ネットワーク会議研究会議) ・おいしく治す食物アレルギー攻略法 使い方講座 ・令和5年度 近肢連 給食部会研修会 ・令和5年度 嚥下調整食レシピ動画作成研修会 ・令和5年度リハビリテーション専門職受入研修/ 京都府健康福祉部リハビリテーション支援センター
	児童発達支援事業			
	診療所			
	障害児相談支援			
	保育所等訪問支援事業			
	放課後等デイサービス 事業			
発達障害者支援センター	—	13	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・ASD入門研修 ・京都児童医学精神研究会 ・全連協実務者研修会 ・発達障害者支援指導者養成研修Ⅱ ・発達障害者支援指導者養成研修Ⅲ ・発達障害とひきこもりシンポジウム ・こどものこころと健康を考えるシンポジウム ・ASDプロジェクトフォローアップ研修 ・全連協近畿ブロック研修 ・日本ペアレントトレーニング研究会研究大会 ・自閉スペクトラム症セミナーinkyoto
合計		209	337名	

各施設実習生受入実績

施設名	施設種別	受入学校 (団体)数	実習受入		延べ日数
			人数	内容	
心身障害者福祉センター	障害者支援施設	3	3名 1名	社会福祉士 教員介護等体験	43日
		1	3名	作業療法士(ひまわり)	19日
洛南寮	養護老人ホーム	9	11名	教員介護等体験 社会福祉体験学習	38日
	救護施設	2	4名	社会福祉士	95日
東山母子生活支援施設	母子生活支援施設	4	4名 1名	社会福祉士 臨床心理士	80日 10日
桃山学園	障害児入所施設	12	16名 12名 1名 1名 1名	保育士実習 介護等体験 社会福祉士 ソーシャルワーカー 家庭支援センターからの研修	129日
	児童養護施設	16	2名 24名 8名 6名	社会福祉士 保育士 心理 介護等体験	384日
こども発達支援センター	通園部門	7	12名	保育士	83日
	放課後等デイ部門	1	29名	心理	369日
	診療部門	1	2名	理学療法士	30日
		4	4名	言語聴覚士	75日
	1	1名	公認心理師	4日	
合計		61	146名		1,359日

②インターンシップ・1DAYチャレンジ受入実績

施設名	インターンシップ	1DAYチャレンジ	備考
心身障害者福祉センター	7名	0名	
洛南寮	養護老人ホーム 7名 救護施設 8名	0名	
東山母子生活支援施設	4名	3名	法人独自インターンシップ (施設見学のみ)
視力障害者福祉センター	4名	0名	法人独自インターンシップ (施設見学のみ)
桃山学園	支援課 5名 養護課 7名	1名 3名	
こども発達支援センター	3名	0名	
発達障害者支援センター	0名	0名	
計	45名	7名	

利用者満足度アンケート調査結果について

心身障害者福祉センター

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年12月6日～令和5年12月26日
- (2) 配布部数 43部
- (3) 回収部数 36部
- (4) 回収率 83.7%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	75.0%	19.4%	5.6%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	61.1%	36.1%	2.8%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけて、適切な対応をしていますか。	69.4%	22.2%	8.3%	0.0%
④ 施設の食事はおいしいですか。	58.3%	36.1%	5.6%	0.0%
⑤ 日中活動や行事は楽しいですか。	63.9%	27.8%	2.8%	5.6%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	58.3%	38.9%	2.8%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	69.4%	30.6%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	61.1%	36.1%	2.8%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありませんか。	13.9%	72.2%	13.9%	0.0%
② 入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	83.3%	2.8%	11.1%	2.8%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	72.2%	5.6%	16.7%	5.6%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	61.1%	8.3%	27.8%	2.8%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	61.1%	36.1%	/	2.8%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	30.6%	19.4%	36.1%	8.3%	5.6%	0.0%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院（入院）

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年11月6日～令和5年12月27日
- (2) 配布部数 27部
- (3) 回収部数 19部
- (4) 回収率 70.4%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 病院は清潔で快適な環境になっていますか。	63.2%	31.6%	5.3%	0.0%
② 病院は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけて、適切な対応をしていますか。	89.5%	5.3%	5.3%	0.0%
④ （入院中の）病院の食事はおいしいですか。	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	89.5%	5.3%	5.3%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	89.5%	5.3%	5.3%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	89.5%	5.3%	5.3%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	84.2%	15.8%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	ふつう (③いいえ)	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありませんか。	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%
② 病院を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	78.9%	0.0%	15.8%	5.3%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 病院を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	89.5%	0.0%	5.3%	0.0%
⑤ 表院のサービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	36.8%	52.6%	/	10.5%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	73.7%	5.3%	15.8%	0.0%	5.3%	0.0%

心身障害者福祉センター附属リハビリテーション病院（外来）

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年11月6日～令和5年12月27日
- (2) 配布部数 178部
- (3) 回収部数 102部
- (4) 回収率 57.3%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 病院は清潔で快適な環境になっていますか。	64.1%	33.0%	1.9%	1.0%
② 病院は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	72.8%	26.2%	0.0%	1.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけて、適切な対応をしていますか。	77.7%	20.4%	1.0%	1.0%
④ 職員の電話対応は、適切ですか。	68.0%	26.2%	0.0%	5.8%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	69.9%	28.2%	1.0%	1.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	75.7%	22.3%	1.0%	1.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	78.6%	20.4%	0.0%	1.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	54.4%	40.8%	3.9%	1.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	ふつう (③いいえ)	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありませんか。	5.8%	84.5%	7.8%	1.9%
② 病院を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	82.5%	3.9%	11.7%	1.9%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	81.6%	2.9%	12.6%	2.9%
④ 病院を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	76.7%	3.9%	17.5%	1.9%
⑤ 表院のサービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	47.6%	46.6%	/	5.8%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	48.5%	31.1%	17.5%	1.0%	0.0%	1.9%

洛南寮 養護老人ホーム

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年11月1日～令和5年12月20日
- (2) 配布部数 75部
- (3) 回収部数 60部
- (4) 回収率 80.0%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	76.7%	18.3%	5.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	76.7%	20.0%	3.3%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	66.7%	28.3%	3.3%	1.7%
④ 施設の食事はおいしいですか。	70.0%	20.0%	10.0%	0.0%
⑤ 日中活動や行事は楽しいですか。	61.7%	25.0%	11.7%	1.7%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	71.7%	25.0%	3.3%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	81.7%	13.3%	5.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	71.1%	21.7%	3.3%	3.3%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	78.3%	20.0%	1.7%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	18.3%	66.7%	11.7%	3.3%
② 入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	81.7%	5.0%	11.7%	1.7%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	83.3%	5.0%	10.0%	1.7%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	68.3%	11.7%	18.3%	1.7%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	35.0%	65.0%	/	0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	43.3%	20.0%	25.0%	8.3%	1.7%	1.7%

洛南寮 救護施設

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年11月1日～令和5年12月31日
- (2) 配布部数 94部
- (3) 回収部数 85部
- (4) 回収率 90.4%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	51.8%	40.0%	8.2%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	60.0%	34.1%	5.9%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気かけ、適切な対応をしていますか。	61.2%	29.4%	9.4%	0.0%
④ 施設の食事はおいしいですか。	35.3%	44.7%	20.0%	0.0%
⑤ 日中活動や行事は楽しいですか。	27.1%	57.6%	15.3%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	52.9%	40.0%	5.9%	1.2%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	58.8%	37.6%	3.5%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	56.5%	38.8%	3.5%	1.2%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	58.8%	35.3%	4.7%	1.2%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありませんか。	29.4%	47.1%	21.2%	2.4%
② 入浴・更衣・排泄等の生活場面で、プライバシーを守るよう配慮されていますか。	68.2%	15.3%	16.5%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	70.6%	8.2%	21.2%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	63.5%	10.6%	25.9%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	57.6%	42.4%		0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	17.6%	23.5%	49.4%	7.1%	0.0%	2.4%

東山母子生活支援施設

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年12月1日～令和5年12月28日
- (2) 配布部数 19部
- (3) 回収部数 10部
- (4) 回収率 52.6%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
④ 施設が企画する行事等は楽しいですか。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
⑤ 職員の電話対応は、適切ですか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	40.0%	60.0%		0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%

視力障害者福祉センター

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年12月21日～令和6年1月9日
- (2) 配布部数 16部
- (3) 回収部数 16部
- (4) 回収率 100.0%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	50.0%	43.8%	6.3%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけて、適切な対応をしていますか。	68.8%	31.3%	0.0%	0.0%
④ 施設の食事はおいしいですか。	62.5%	31.3%	6.3%	0.0%
⑤ 施設が企画する行事等は楽しいですか。	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	56.3%	37.5%	6.3%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	31.3%	68.8%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありませんか。	43.8%	43.8%	12.5%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	75.0%	12.5%	12.5%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	68.8%	6.3%	25.0%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	62.5%	12.5%	25.0%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	87.5%	12.5%		0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	37.5%	6.3%	37.5%	18.8%	0.0%	0.0%

こども発達支援センター 児童発達

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年12月4日～令和5年12月28日
- (2) 配布部数 69部
- (3) 回収部数 67部
- (4) 回収率 97.1%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	88.1%	1.9%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	92.5%	6.0%	1.5%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけ、適切な対応をしていますか。	98.5%	1.5%	0.0%	0.0%
④ 日中活動や行事は楽しいですか。	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%
⑤ 職員の電話対応は、適切ですか。	94.0%	6.0%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	94.0%	4.5%	1.5%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	98.5%	1.5%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	14.9%	83.6%	1.5%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	91.0%	0.0%	9.0%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	79.1%	20.9%	/	0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	80.6%	17.9%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%

こども発達支援センター 診療

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年12月1日～令和5年12月19日
- (2) 配布部数 150部
- (3) 回収部数 150部
- (4) 回収率 100%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	92.7%	7.3%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけて、適切な対応をしていますか。	92.0%	7.3%	0.0%	0.7%
④ 職員の電話対応は、適切ですか。	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	93.3%	6.7%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	96.0%	4.0%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	84.7%	14.7%	0.0%	0.7%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	6.0%	92.0%	2.0%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	94.0%	0.0%	6.0%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	91.3%	0.0%	7.3%	1.3%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	90.0%	0.7%	9.3%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	11.3%	88.7%	/	0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	68.0%	21.3%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%

こども発達支援センター 放課後等デイサービス

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年11月28日～令和5年12月23日
- (2) 配布部数 43部
- (3) 回収部数 37部
- (4) 回収率 86.0%

2. 調査結果

【環境・サービスについて】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 施設は清潔で快適な環境になっていますか。	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%
② 施設は安心・安全な利用への配慮ができていますか。	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%
③ 職員は、あなたのからだの調子を日頃から気にかけて、適切な対応をしていますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%
④ 日中活動や行事は楽しいですか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%
⑤ 職員の電話対応は、適切ですか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	97.3%	2.7%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	94.6%	5.4%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	86.5%	13.5%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	10.8%	83.8%	5.4%	0.0%
② 施設を利用するにあたって、あなたのプライバシーは守られていますか。	91.9%	2.7%	5.4%	0.0%
③ あなたや家族に関する他の人に知られたくない秘密（個人情報）の保護に関して配慮されていますか。	94.6%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 施設を利用するにあたって、あなたの不安や要望は伝えやすいですか。	91.9%	8.1%	0.0%	0.0%
⑤ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	91.9%	8.1%		0.0%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	83.8%	13.5%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%

発達障害者支援センター

1. 調査概要

- (1) 実施時期 令和5年11月1日～令和5年12月28日
- (2) 配布部数 15部
- (3) 回収部数 14部
- (4) 回収率 93.3%

2. 調査結果

【職員の対応・接遇について】

項目	回答			
	はい	ふつう	いいえ	未回答
① 職員の言葉遣いは、ていねいですか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
② 職員は気持ちの良いあいさつをしていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ 職員は、親切・ていねいに対応していますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
④ 職員は、いきいきと働いているように見えますか。	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%

【人権の尊重・プライバシーの保護について】

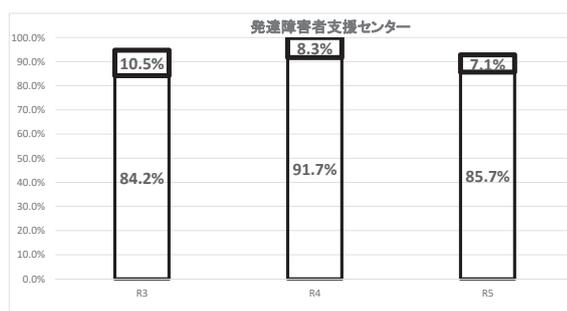
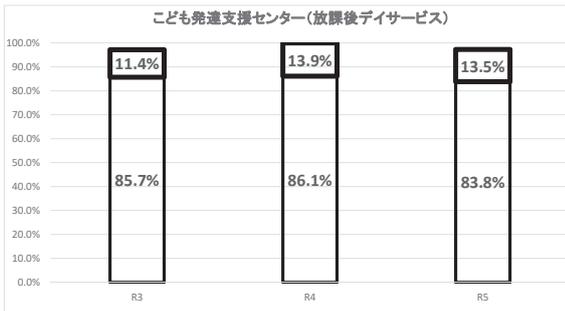
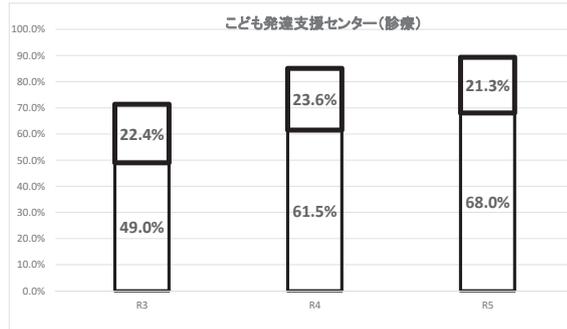
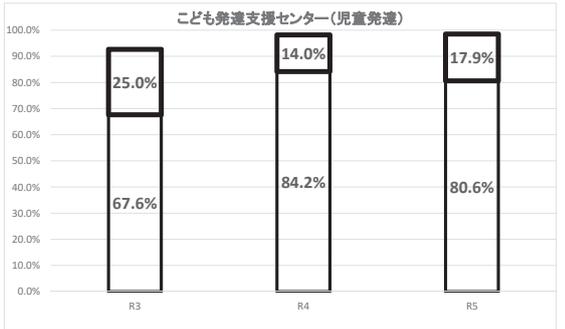
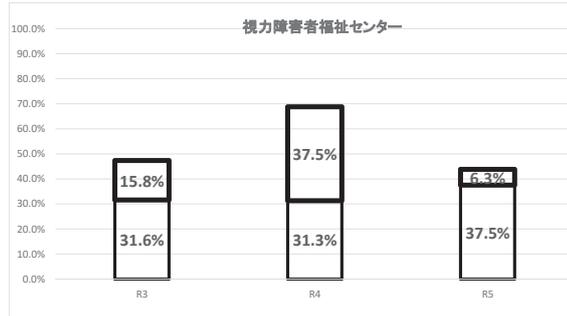
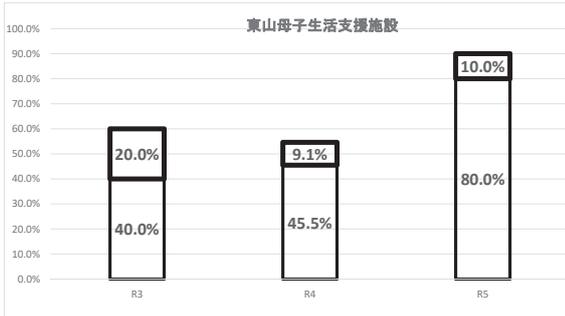
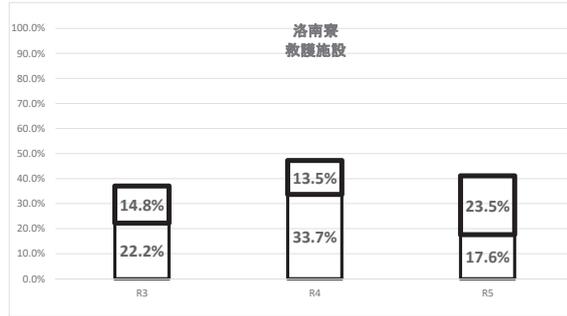
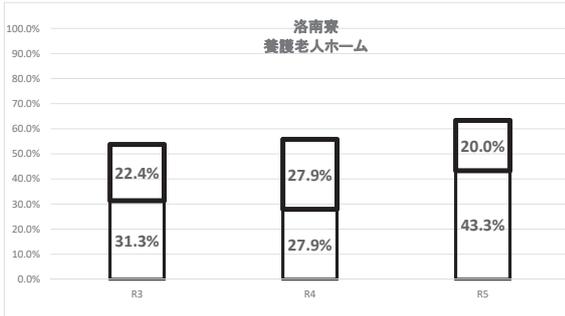
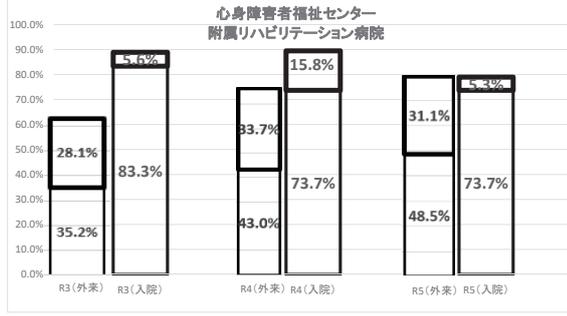
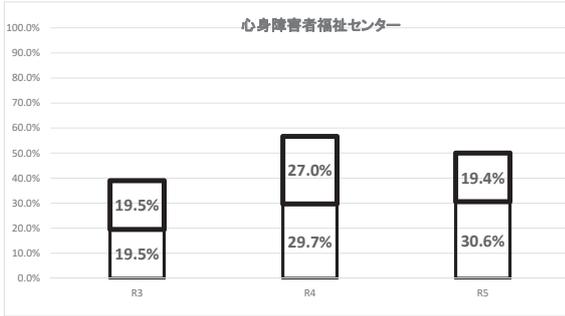
項目	回答			
	はい	いいえ	どちらでもない	未回答
① 職員に無視されたり、えらそうな態度をとられるなど、不快な思いをされたことはありますか。	7.1%	92.9%	0.0%	0.0%
② 相談のあとに、不安が軽減したり問題解決につながっていますか。	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③ 施設サービスについて不満や何らかの訴えをしたとき、苦情解決の仕組みがあることをご存知ですか。	57.1%	35.7%	/	7.1%

【全体的な満足度について】

項目	回答					
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	未回答
施設サービス全般について満足されていますか。	85.7%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%

各施設別「満足」・「やや満足」と回答した者の推移

下段 満足 上段 やや満足



苦情対応状況

(1)内容別発生件数

(単位： 件)

施設名 苦情の内容	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	合計
サービス内容（職員の接遇）	0	0	1	4	0	0	0	5
サービス内容（プログラム、生活支援、医療・看護ケア等）	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス内容（食事関連）	0	0	0	0	0	0	0	0
相談・連絡（説明不足、対応の即時性等）	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者間トラブル	0	0	0	0	0	0	0	0
設備	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	4	0	0	0	5

(2)受付方法

(単位： 件)

施設名 方法	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	合計
直接	0	0	1	3	0	0	0	4
第三者委員を介して受付	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	0	0	1	4	0	0	0	5

(3) 申し出者

(単位： 件)

施設名 申し出者	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	合計
本人	0	0	1	4	0	0	0	5
家族	0	0	0	0	0	0	0	0
その他（近隣住民 等）	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	1	4	0	0	0	5

(4)解決状況

(単位：件)

区分	施設名							合計
	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	
円満解決（施設側の対応により 申立者が納得）	0	0	0	3	0	0	0	3
円満解決(法人本部の介入 により本人納得)	0	0	0	0	0	0	0	0
外部の機関の介入で解決	0	0	0	0	0	0	0	0
未解決にて調整中	0	0	0	1	0	0	0	1
その他	0	0	1	0	0	0	0	1
合計	0	0	1	4	0	0	0	5

(5)発生件数の年度推移

(単位：件)

年度	施設名							合計
	心身障害者 福祉センター	洛南寮	東山母子 生活支援施設	視力障害者 福祉センター	桃山学園	こども発達 支援センター	発達障害者 支援センター	
令和3年度	0	0	0	7	0	1	0	8
令和4年度	0	0	0	5	2	0	0	7
令和5年度	0	0	1	4	0	0	0	5

ヒヤリハット・事故集計状況

事故・ヒヤリハットの取扱い(新たな分類基準を含む)について、平成30年4月に開催した「サービス向上推進委員会」で統一し、その分類による集計値を報告(2023.4.1一部変更)

(1)分類表

No.	種類	インシデント区分			アクシデント区分[行政機関への報告] [レベル4]
		[レベル1]	[レベル2]	[レベル3]	
	考え方	左記の事象が発生する前に気づいた場合	左記の事象が発生し、利用者に変化(実害)が生じ施設内での処置をした場合もしくは安全確認のために検査(治療を要しなかった場合に限り)をした場合	左記の事象が発生し、利用者の身体・精神又は財産に、障害又は損失を与え、病院において一時的な治療が必要となった場合(レベル4に至らないもの)	下記
1	転倒等	外傷(骨折、火傷、創傷等)なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	ア 利用者の死亡(左記1~7)
2	異食	未嚥下	施設内処置	医療機関への1回の通院	・サービス提供による利用者の死亡 ・利用者の死亡原因に疑義
3	誤嚥	未然回避	施設内処置	医療機関への1回の通院	イ 利用者の怪我等(左記1~7)
4	誤与薬	誤与薬の未然回避	施設内処置	医療機関への1回の通院	入院又は医療機関での継続的な治療を要するもの
5	所在不明	敷地内等近辺で発見	周辺捜索にて発見(概ね2時間以内)	警察への保護願ひ届け(24時間以内)発見	ウ 利用者の保有する財物の損壊、滅失(10万円~)(左記8~9)
6	利用者間暴力	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	エ 従業員の法令違反により利用者の処遇に影響を及ぼすもの
7	不適切なあはき施術	外傷等なし	施設内処置	医療機関への1回の通院	オ その他、管理者が報告を必要と判断したもの
8	施設、設備等の損害	実害に至らなかったもの	施設内で復旧出来る軽微なもの(~3万円)	復旧に金銭を多額に必要とするもの(~10万円)	・警察に保護願ひを提出後24時間経過したもの(左記5)
9	利用者の財物への損壊、滅失	実害に至らなかったもの	軽微なもの(~3万円)	多額なもの(~10万円)	・本人・家族の理解や納得が得られない場合
10	診察等予約ミス	未然回避	ミスはあったが他の方法にて実施し実害回避	実施できず	(注)利用者による施設、設備等の損害は事故の場合も行政機関への報告は要しない。

* 分類については各施設共通の目安として捉え、施設の特性等を踏まえた判断もあり得るものとする。

※2023. 4. 1 策定

(2) 集計表 (法人全体 施設別)

(単位: 件)

種類		心セ 支援課	洛南 養老	洛南 救護	東山母子	視力	桃山 支援課	桃山 養護	こども	合計
転倒等	L1	9	88	109	0	0	3	3	3	215
	L2	41	19	17	2	0	6	4	3	92
	L3	7	4	2	0	0	1	4	0	18
	L4	3	6	13	0	0	0	0	0	22
異食	L1	2	1	1	0	0	11	1	1	17
	L2	1	2	1	0	0	5	0	1	10
	L3	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	L4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
誤嚥	L1	2	1	4	0	0	0	0	0	7
	L2	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	L3	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	L4	0	0	1	0	0	0	0	0	1
誤与薬	L1	30	16	23	0	0	13	3	0	85
	L2	35	14	47	0	0	5	0	0	101
	L3	1	5	1	0	0	4	1	0	12
	L4	0	1	1	0	0	0	0	0	2
所在不明	L1	2	12	4	0	0	5	2	0	25
	L2	0	3	1	0	0	3	1	0	8
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	L4	0	0	2	0	0	0	0	0	2
利用者間暴力	L1	0	5	2	0	0	1	0	0	8
	L2	1	0	0	0	0	2	1	0	4
	L3	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	L4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
不適切なあはき施術	L1	0	0	0	0	6	0	0	0	6
	L2	0	0	0	0	4	0	0	0	4
	L3	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	L4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
施設、設備等の損害	L1	0	1	1	1	0	2	1	0	6
	L2	0	0	1	0	0	1	0	0	2
	L3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	L4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者の財物への損壊、滅失	L1	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	L2	3	0	0	0	0	0	0	2	5
	L3	4	0	0	0	0	0	0	0	4
	L4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診察等予約ミス	L1	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	L2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	L3	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	L4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	L1	45	124	144	1	6	35	12	7	374
	L2	81	39	67	2	4	23	6	6	228
	L3	13	9	3	0	1	8	6	1	41
	L4	3	7	17	0	0	0	0	0	27

1 本部事務局

(1) 法人虐待防止委員会実施状況

委員会名	実施日	実施内容
第11回虐待防止委員会	令和5年7月11日(火)	(1) 令和4年度の主な取組み状況及び令和5年度の計画について (2) 虐待防止に係る職員セルフチェック項目の見直しについて(報告) (3) その他 「笑顔の支援記録(ニコリほっと)」の取組について 心身障害者福祉センター

(2) 事故・虐待防止委員会実施状況

施設名	実施日	実施内容
心身障害者福祉センター	毎月1回	事故・ヒヤリハット報告の検証及び利用者からの苦情・意見・要望等の申出に対するアドバイス 内、下記は事故・虐待防止推進員が参加 令和5年6月8日(木) 樋口委員 令和5年7月13日(木) 小出委員、高木委員 令和5年8月10日(木) 中吉委員 令和5年9月14日(木) 岡田委員 令和5年12月14日(木) 早樫委員
洛南寮	毎月1回	令和5年6月22日(木) 中吉委員 令和5年7月19日(水) 岡田委員、樋口委員 令和5年9月20日(水) 高木委員 令和5年10月18日(水) 小出委員 令和5年12月20日(水) 早樫委員
東山母子生活支援施設	毎月1回	令和5年6月28日(水) 小出委員 令和5年8月30日(水) 中吉委員 令和5年9月27日(水) 岡田委員 令和5年10月27日(金) 高木委員 令和5年11月29日(水) 早樫委員 令和5年12月20日(水) 樋口委員
視力障害者福祉センター	毎月1回	令和5年6月13日(火) 高木委員 令和5年7月4日(火) 岡田委員 令和5年9月12日(火) 小出委員、中吉委員 令和5年10月10日(火) 早樫委員 令和5年11月14日(火) 樋口委員
桃山学園	毎月1回	令和5年5月25日(木) 樋口委員 令和5年8月24日(木) 小出委員、岡田委員、高木委員 令和5年9月28日(木) 早樫委員 令和5年10月26日(木) 中吉委員
こども発達支援センター	毎月1回	令和5年5月12日(金) 高木委員 令和5年7月14日(金) 中吉委員 令和5年8月18日(金) 樋口委員 令和5年10月13日(金) 岡田委員 令和5年11月10日(金) 小出委員 令和5年12月8日(金) 早樫委員

(3) サービス向上推進幹事会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回サービス向上推進幹事会	令和5年5月30日(火)	1. 施設間連携によるサービスの向上について 2. 事故・ヒヤリハット報告分類見直しによるサービスの向上について 3. 令和4年度利用者満足度アンケート結果による課題と改善策について 4. 令和4年度における苦情解決の取り組み状況について 5. その他
第2回サービス向上推進幹事会	令和5年10月16日(月)	1. 総合リハビリテーション支援拠点施設整備基本計画について 2. 各施設取組み中(計画中)のわたしの一押しプロジェクトについて 3. 令和4年度後期及び令和5年度前期の苦情解決の取組み状況について 4. 令和6年度に向けたマニュアルの点検・見直しについて 5. その他

(4) 広報委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回広報委員会	令和5年6月21日(水)	(1)令和5年度広報委員会の運営について (2)今年度の取組みについて ・ホームページのリニューアルについて ・学校別リクルーター活動について
第2回広報委員会	令和5年8月30日(水)	(1)ホームページリニューアルについて (2)法人独自のインターンシップについて
第3回広報委員会	書面会議	(1)令和5年度広報委員会活動の総括について

(5) 戦略的人材確保検討会議

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第8回戦略的人材確保検討会議	令和5年4月25日(火)	(1)令和5年度職員採用試験実施計画について (2)職員採用試験面接者研修について (3)令和5年度本部研修計画について (4)令和5年度人材育成計画について (5)職員チャレンジ研究支援事業の募集について(案) (6)法人就職説明会(5/20)の開催について (7)福祉留学の動画について
第9回戦略的人材確保検討会議	令和5年9月26日(火)	(1)法人独自のインターンシップの実施について (2)新任層フォローアップ研修の実施について (3)KSJ職員スターティングサポートに係る今後の流れについて (4)セラピスト採用試験受験状況について
第10回戦略的人材確保検討会議	令和5年12月26日(火)	(1)事業団インターンシップの実施について
第11回戦略的人材確保検討会議	令和6年3月21日(木)	(1)インターンシップ、実習の受入、リクルートについて (2)職員採用について (3)人事異動について

(6) 職員安全衛生委員会実施状況

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
第1回職員安全衛生委員会	令和5年5月31日(水)	(1)令和4年度定期健康診断結果について (2)令和5年度定期健康診断等に実施について (3)令和5年度人間ドック補助事業の実施について (4)令和5年度ストレスチェック調査の実施について (5)その他 ①新型コロナウイルス感染症に係る服務等について ②産業医による職場巡視について
第2回職員安全衛生委員会	令和5年11月15日(水)	(1)令和5年度第1クール定期健康診断結果について (2)令和5年度第1クール介護業務等従事職員健康診断結果について (3)令和5年度ストレスチェック結果について (4)事業所健康度カルテについて (6)令和5年年次有給休暇の取得状況について
第3回職員安全衛生委員会	令和6年3月6日(水)	(1)令和5年度第2クール定期健康診断について (2)令和6年度定期健康診断の取組について (3)第2回産業医による職場巡視について (4)子育て応援ハンドブックの改正について (5)令和5年年次有給休暇の取得状況について

(7) 苦情解決連絡調整委員会

プロジェクト・委員会名	実施日	実施内容
苦情解決取組み報告会	心障：令和5年12月5日(火) 洛南：令和5年11月16日(木) 東山：令和5年11月1日(水) 視力：令和5年11月27日(月) 桃山：令和5年12月19日(火) こども：令和5年12月5日(火)	各施設担当第三者委員へ苦情並びに利用者からの訴え・要望等の受付状況を報告 心身障害者福祉センター、こども発達支援センター（中根委員） 洛南寮(山田委員) 東山母子生活支援施設、桃山学園(岡本委員) 視力障害者福祉センター(樋口委員)・

(8) 採用・広報活動実績

①就職イベント参加実績

フェア名	実施日	会場	人数
学校法人大阪滋慶学園グループ就職フェア2023	令和5年4月20日	大阪府立国際会議場 (グランキューブ大阪)	18名
お仕事研究所 in京都文教大学	令和5年6月10日	京都文教大学 サロン・ド・パドマ	18名
京都府リハビリテーション就業フェア2023	令和5年7月23日	オンライン開催	14名
佛教大学 2023年度学内合同就職説明会 (理学療法士・作業療法士)	令和5年8月10日	オンライン開催	18名
大和大学総合リハビリテーション学科 令和5年度オンライン就職説明会	令和5年8月18日	オンライン開催	16名
福祉のお仕事相談会	令和5年9月28日	ハートピア京都3階 大会議室	6名
令和5年度京都府南部FUKUSHI就職フェア	令和5年10月21日	京都経済センター 京都産業会館ホール	6名
福祉のお仕事相談会	令和5年11月16日	ハートピア京都3階 大会議室	5名
京都府立大学 オンライン版合同企業研究会 2023	令和5年12月15日	オンライン開催	3名
京都府立大学公共政策学部 就職説明会	令和6年2月15日	京都府立大学 稲盛記念館2階	6名
令和5年度第2回FUKUSHI就職フェアKYOTO	令和6年3月23日	みやこめっせ3階 第3展示場	27名
京都文教大学・京都文教短期大学 「医療・福祉合同説明会」	令和6年3月15日	京都文教大学本館 14号館1階・2階	19名

2 心身障害者福祉センター

(1) 施設利用状況の推移

① 障害者支援施設

(ア) 入・退所者の状況

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由					年度末
				家庭復帰	自立生活	他施設	医療機関	死亡	
令和3年度	46	3	7	0	0	2	2	3	42
令和4年度	42	4	3	0	0	0	0	3	43
令和5年度	43	2	2	0	0	1	1	0	43

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和3年度	46	46	46	45	47	47	48	48	48	46	44	42	46.1
令和4年度	43	43	43	43	43	43	43	45	44	43	43	43	43.3
令和5年度	42	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	42.9

(ウ) 他事業所利用状況

(単位:名)

	生活介護	就労B型	延べ利用日数
令和3年度	6	1	494日
令和4年度	6	1	328日
令和5年度	6	1	411日

(エ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
令和3年度	0	3	7	9	27	46
令和4年度	0	1	8	11	23	43
令和5年度	0	1	7	13	22	43

(オ) 障害支援区分別状況

(単位:名)

区分 年度	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
令和3年度	0	0	0	3	18	25	46
令和4年度	0	0	0	3	15	25	43
令和5年度	0	0	0	4	14	25	43

(カ) 地域別入所者の状況

(単位:名)

年度	区分								
	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和3年度	16	9	7	2	1	4	5	2	46
令和4年度	16	7	8	2	2	2	4	2	43
令和5年度	15	8	8	2	2	2	4	2	43

(キ) 在所期間の状況

(単位:名)

年度	区分								
	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	合計
令和3年度	4	5	1	8	10	10	8	0	46
令和4年度	4	6	5	6	8	7	7	0	43
令和5年度	2	7	3	8	8	6	9	0	43

(ク) 短期入所状況

(単位:名)

	利用実人数	利用回数	利用延べ 日数	備考 契約市町村
令和3年度	4	51回	331日	井手町 宇治市 精華町 京田辺市 西京区
令和4年度	6	70回	248日	井手町 宇治市 久御山町 京田辺市 八幡市 城陽市
令和5年度	6	117回	386日	井手町 宇治市 久御山町 京田辺市 八幡市 城陽市

② 生活訓練事業所 ひまわり

(ア) 契約者の状況

(単位:名)

年度	区分	年度当初	新規	終了	訓練終了後の状況					年度末
					家庭復帰	職場復帰/ 就労	他施設	医療機関	介護保険 サービス	
令和3年度		12	2	5	1	4	0	0	0	9
令和4年度		9	5	6	0	5	0	0	1	8
令和5年度		8	5	3	1	2	0	0	0	10

(イ) 月例別契約者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均契約者数
令和3年度	12	12	13	14	13	13	13	13	12	11	11	9	12.2
令和4年度	9	10	9	9	10	9	9	9	8	7	7	8	8.7
令和5年度	8	8	10	12	12	12	11	10	9	10	10	10	10.2

(ウ) 通所状況 (単位:名)

区分	合計	平均(月)
令和3年度	752	63
令和4年度	632	53
令和5年度	694	58

③ TOMO地域別相談支援

(ア) 相談支援の延べ件数 (単位:件)

区分 年度	入所施設		在 宅			合計
	心障(施設)	南京都・他施設	城陽市	宇治田原町	他	
令和3年度	40	54	0	1	7	102
令和4年度	60	79	0	1	11	151
令和5年度	55	69	2	0	11	137

※サービス等利用計画の作成と再評価の合計数を表示

※心障(施設)は入所者のみを記載

(イ) 相談支援内容の内訳 (単位:件)

区分 年度	サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	地域定着支援	合計
令和3年度	62	120	0	182
令和4年度	35	116	0	151
令和5年度	50	87	0	137

③ 附属リハビリテーション病院

(ア) 外来患者の状況

年度	区分	1日平均外来患者数(名)	延べ外来患者数(名)		外来診療単価(円)
			内、高次脳機能外来		
令和3年度		66.3	16,118	2,339	9,081
令和4年度		58.8	14,277	2,200	10,042
令和5年度		62.8	15,253	2,264	9,361

(イ) 入院患者の状況

年度	区分	1日平均入院患者数(名)	延べ入院患者数(名)	平均在院日数(日)	入院診療単価(円)
令和3年度		13.0	4,745	28.1	30,625
令和4年度		12.5	4,545	31.9	31,574
令和5年度		14.6	5,340	34.6	30,935

(ウ) リハビリテーション実施状況

(単位:回)

年度	区分	運動器リハビリテーションⅠ	脳血管疾患等リハビリテーションⅡ	合計
		令和3年度	11,533	9,122
令和4年度		9,824	7,692	17,516
令和5年度		12,931	9,800	22,731

④ 体育館

利用状況

年度	区分	身体障害者	一般	合計
		人員(名)	人員(名)	人員(名)
令和3年度		17,485	1,673	19,158
令和4年度		20,692	4,664	25,356
令和5年度		32,441	6,448	38,889

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

(障害者支援施設)

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
小中学校福祉体験学習	令和5年12月1日	南城陽中学1年	小学校2校、中学校1校での車いす体験等体験学習への職員派遣
	令和5年12月9日	青谷小学校3年~6年	
	令和5年12月12日	寺田南小学校6年	

(附属リハビリテーション病院)

出前講座	令和5年7月6日	31名	(会場)城陽時老人福祉センター 陽寿苑 ・講演「ステイホームで弱った骨を強くしよう」 ・健康チェック ロコモ体操
出前講座	令和6年3月5日	26名	(会場)城陽時老人福祉センター 陽東苑 ・講演「ロコモティブシンドロームについて」 ・健康チェック 骨密度測定
公開講座 体育館(サン・アビリティーズ城陽)	令和5年12月1日	28名	(会場)体育館(サン・アビリティーズ城陽) 後遺症と向き合いながら地域で豊かな生活を ・講演「高次脳機能障害専門外来の取組」 ・講演「生活訓練事業所ひまわりの取組について」

② 文化・スポーツ関係参加

第28回とっておきの芸術祭	12月1～3日		生活訓練ひまわり利用者日中活動作品を出品
城陽市ふれあいまつり	11月8日～11日		ポスター展示参加 利用者製作販売物品提供 当日スタッフ派遣
KSJ FKUSHIつながるクワイエット	令和5年12月9日		ポスター展示参加 利用者製作物展示 生活訓練事業所体験コーナー 当日スタッフ派遣

(3) 職場内研修実施状況

(障害者支援施設)

研修名	実施日	参加人数	研修内容
メンタルヘルス&アンガーマネジメントについて	令和5年9月19日	9名	メンタルヘルス&アンガーマネジメントについて (復命研修) 講師:堺生活支援員
障害者が地域で暮らすこと	令和5年9月28日	職員:18名 利用者等:9名 WEB視聴:3名	当事者に実際に地域で暮らすことについてお話しいただき地域移行の課題等について共有をした。 講師:村田敬吾氏(センター元利用者・NPO法人北摂24理事長)他支援者
「高次脳機能障害」公開講座	令和5年12月1日	職員:6名 (TOMO職員1名含む)	リハ病院主催による公開講座「高次脳機能障害の取り組み、ひまわりの取り組みについて」 講師:生活訓練事業所 ひまわり 植田総括主任
日常業務で出会う健康異常と対処法	令和6年2月22日	職員12名 WEB視聴:2名	・現場で出会うこんな時どうする? =現場で出会う健康異常と対処法について 講師:リハビリテーション病院 河瀬師長

(リハビリテーション病院)

研修名	実施日	参加人数	研修内容
院内研修 (関節リウマチ①)	令和5年4月21日	25名	関節リウマチ 概論
院内研修 (関節リウマチ②)	令和5年5月2日	25名	関節リウマチ 診断
院内研修 (関節リウマチ③)	令和5年5月9日	25名	関節リウマチ 薬物療法①
院内研修 (関節リウマチ④)	令和5年5月18日	25名	関節リウマチ 薬物療法② 生物製剤 関節注射
院内研修 (関節リウマチ⑤)	令和5年5月23日	25名	関節リウマチ 手術療法
院内研修	令和5年4月28日	25名	パラスポーツの歴史とこれから
院内研修 (医療機器研修)	令和5年5月25日	45名	リハビリ機器(VR機器)の紹介、体験等
院内研修 (医療安全研修)	令和5年8月4日	45名	新型コロナウイルス感染症の振り返り
院内研修 (医療安全研修)	令和5年9月29日	45名	心理的安全性について
院内虐待防止研修 (医療安全研修)	令和6年2月2日	45名	パワーハラスメントについて(対面、Web)
院内研修 (医薬品研修)	令和5年12月8日	45名	骨粗鬆症の治療薬(テリパラチドBS)について
院内研修 (看護助手研修)	令和5年5月18日	2名	環境整備として覚えておきたいこと
院内研修 (看護助手研修)	令和5年6月5日	2名	看護助手の業務の範囲について
院内研修 (院内感染防止対策研 修)	令和5年11月28日 ～12月25日	45名	新型コロナウイルスと感染拡大防止対策について

院内研修 (心肺蘇生・AED研修)	令和5年12月13日 ～12月26日	45名	心肺蘇生・AEDの使用について
心理学に基づいた運動 学習論アプローチによる 運動・動作指導方法	令和5年5月15日	1名	運動・動作指導方法等について(Web)
令和5年度リウマチ月間 リウマチ講演会	令和5年6月10日	1名	リウマチについて(Web)
第24回日本語聴覚学 学会	令和5年7月10日 ～8月9日	1名	学会参加(Web)
リハビリテーション教育 セミナー	令和5年7月20日	1名	実践セミナー リハビリについて(Web)
地域包括ケアシステムと これからの看護職の役割	令和5年12月28日	2名	京都看護協会主催(Web) 地域包括ケアの現状と今後、看護職の果たす役割に ついて
第1回心理職のための身 体医療基礎講座	令和6年1月14日	1名	ワークショップ 心理職のための身体医療の基礎知識(Web)
第2回心理職のための身 体医療基礎講座	令和6年2月4日	1名	ワークショップ 心理職のための身体医療の基礎知識(Web)
セラピスト新任研修	令和5年5月23日～ 6月20日 (毎週火曜日 計5 回)	延10名	派遣研修(丸太町リハビリテーションクリニック) ・理学療法の見学 ・症例検討会参加 ・実技
ICT院内感染対策研修	令和5年6月8日 令和5年8月31日 令和5年10月12日 令和5年12月14日	延16名	京都岡本記念病院 ・コロナ5類後の対応について ・院内の職員等を対象とした感染対策の具体例等
トルト 動作解析セミナー	令和5年6月13日	1名	動作解析機器を使用しての患者の身体情報等の把握
LSVT BIG講習会	令和5年10月 14日～15日	1名	LSVT BIG認定療法士の資格継続の講習会
第39回日本放射線技師 学術大会	令和5年11月28日 ～10月1日	1名	学会参加
京都第一赤十字病院 病診連携懇話会	令和5年10月5日	2名	京都第一赤十字病院の機能紹介、地域連携のあり方 等
京都岡本記念病院 病診連携の夕べ	令和5年10月21日	3名	外来機能分化時代の地域医療連携、他

3 洛 南 寮

(1) 施設利用状況の推移

① 養護老人ホーム

入・退所の状況

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
				社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
令和3年度	86	9	19	0	3	1	7	8	0	76
令和4年度	76	8	13	0	0	1	2	10	0	71
令和5年度	71	9(1)	9	0	1	1	2	5	0	71(1)

※令和5年度()内は契約入所1名含む

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和3年度	85	85	84	83	83	82	81	80	79	79	76	76	81.1
令和4年度	76	77	76	76	74	72	71	71	71	70	71	71	73.0
令和5年度	70	69	69	70	71	71	75(1)	75(1)	76(1)	74(1)	74(1)	71(1)	72.0

※令和5年度()内は契約入所1名含む

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	65歳未満	65～74歳	75歳～84歳	85歳～95歳	95歳以上	合計	平均年齢 (歳)	最高齢 (歳)
令和3年度	0	22	31	22	1	76	80.5	105
令和4年度	0	16	35	18	2	71	81.7	106
令和5年度	0	15	39	16	1	71	79.8	95

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	家族等同居	単身生活	長期入院	他施設	その他	合計
令和3年度	21	29	7	15	4	76
令和4年度	23	25	9	7	7	71
令和5年度	24	24	8	8	7	71

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

(オ) 地域別入所者の状況

(単位:名)

年度	区分								
	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和3年度	42	7	3	3	1	8	11	1	76
令和4年度	35	8	2	4	1	10	10	1	71
令和5年度	38	8	2	2	0	7	13	1	71

(カ) 介護認定状況

(単位:名)

年度	区分	自立	要支援 1	要支援 2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	未認定	平均 介護度	計
		令和3年度	36	3	3	9(2)	8(4)	8(7)	4(4)	5(5)	0	2.6(3.3)
令和4年度	35	1	4	5(1)	7(4)	7(3)	10(8)	2(2)	0	2.9(3.3)	71(18)	
令和5年度	34	2	2	5	10(2)	8(6)	8(6)	2(2)	0	2.8(3.5)	71(16)	

※()内は一般型特定施設入居者介護利用者

(キ) 在所期間の状況

(単位:名)

年度	区分	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	合計
		令和3年度	5	19	14	27	5	6	0	0
令和4年度	6	20	13	23	4	5	0	0	71	
令和5年度	9	8	16	28	7	1	2	0	71	

(ク) 契約入所利用状況

年度	区分	利用者数	利用日数
		令和5年度	1人

② 救護施設

(ア) 入・退所の状況

(単位:名)

年度	区分	年度当初	入所	退所	退所後の状況						年度末
					社会復帰	家庭復帰	医療機関	他施設	死亡	その他	
令和3年度		91	13	14	2	0	3	4	5	0	90
令和4年度		90	15	10	2	0	0	2	6	0	95
令和5年度		95	18	20	0	6	4	4	6	0	93

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和3年度	91	90	89	88	88	88	88	87	87	87	89	90	88.5
令和4年度	90	91	94	92	92	92	95	94	93	93	94	95	92.9
令和5年度	96	95	95	92	93	92	92	94	94	95	94	93	93.7

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	20～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	平均年齢 (歳)
令和3年度	8	22	29	26	5	90	64.2
令和4年度	7	22	36	25	5	95	64.1
令和5年度	8	21	33	25	6	93	64.3

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	家族同居	単身	入院	他施設	その他	合計
令和3年度	10	18	57	5	0	90
令和4年度	11	15	61	7	1	95
令和5年度	9	10	67	7	0	93

※その他は、ホームレス、矯正施設退所者

(オ) 地域別入所者の状況

(単位:名)

区分 年度	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和3年度	31	16	3	6	4	22	8	0	90
令和4年度	33	13	2	7	4	22	14	0	95
令和5年度	35	13	4	5	3	24	8	1	93

(カ) 障害別状況

(単位:名)

区分 年度	身体障害	知的障害	精神障害	身体・知的 重複	身体・精神 重複	知的・精神 重複	身体・知的 ・精神重複	その他	計
令和3年度	3	5	53	0	7	3	0	19	90
令和4年度	3	4	53	0	7	3	0	25	95
令和5年度	2	2	63	1	7	3	0	15	93

(キ) 在所期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	合計
令和3年度	11	19	16	16	8	6	12	2	90
令和4年度	16	15	19	17	10	5	11	2	95
令和5年度	17	18	12	20	11	3	9	3	93

(ク) 一時保護利用状況

区分 年度	利用者数	利用日数
令和3年度	6人	124日
令和4年度	3人	60日
令和5年度	7人	111日

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

(ア) 地域高齢者配食サービス事業

実施日	対象者数	給食数	実施内容
毎月第2水曜日 (7月は中止)	京田辺市内の70歳以上の独居老人	毎回35食	洛南寮で調理した夕食弁当を京田辺市社会福祉協議会ボランティアにより各対象者宅に配送する。

(イ) 地域交流

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
敬老のつどい	令和5年9月6日	利用者約90名 (リモート参加含む) 招待者 13名	感染症対策をとりながら招待者を絞り込んで実施。ボランティア(大正琴)も参加。祝賀会の様子をデイルームでリモート中継した。
洛南寮まつり	令和5年6月15日	利用者約150名	感染症対策をとりながら招待者・ボランティアなしで実施。施設内喫茶や福引き、ゲーム等を実施し楽しんでいただいた。

「介護相談・施設見学会」や「田辺中学校こころもち運動」等、例年実施している事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(ウ) 文化・スポーツ関係参加

「桃園小学校ふれあいフェスタ」や「きょうたなべ北部ふれあいまつり」等の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(エ) ボランティア受入

「利用者外出支援」や「余暇活動支援プログラム(喫茶・スポーツ等)」等の事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(オ) ボランティア育成等

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
紙すき体験教室	令和5年8月17日	2名	地域の小学生を対象に紙すき体験教室を開催。利用者が講師として参加をする。 (8/15も予定していたが台風のため中止)

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
異動者等職員研修(全体)	令和5年4月4日 令和5年4月4日	4名	令和5年度新規採用職員を対象とした施設概要説明、人権擁護虐待防止、身体拘束について、車イス介助講習の実施 講師:岡本寮長、瀬尾技術次長、宮崎課長、長田指導役 並川課長補佐
所内研修	令和5年4月11日	2名	「精神障害について」 講師:岡本寮長
所内研修	令和5年4月27日	2名	「新型コロナウイルス感染症の5類感染症への位置づけ変更に伴う研修」 【訓練】ガウンテクニックについて 講師:合田看護師
所内研修	令和5年10月26日	全職員	「虐待防止研修(不適切ケアについて)」 (当日参加出来なかった職員は動画視聴で参加) 講師:岡本寮長

復命研修	令和5年12月12日	7名	「府社協マナー研修」 【全救協復命研修】 講師：並川課長補佐、松本主任、川岸支援員、大村支援員
消防関連研修	令和5年8月24日	4名	火災通報装置作動時の対応・訓練
消防関連研修	令和6年3月5日	14名	夜間想定避難訓練 京田辺市消防署による救急救命講習 (地域住民4名が参加)

4 東山母子生活支援施設

(1) 施設利用状況の推移

① 入・退所の状況

(単位:世帯)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				DV・離婚 問題解決	生活能力 向上	復縁・結婚	未解決・ 自主退所	
令和3年度	14	3	5	2	2	0	1	12
令和4年度	12	9	4	2	0	0	2	17
令和5年度	17	6	8	1	3	0	4	15

② 月例別世帯数の推移

(単位:世帯)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和3年度	14	14	14	14	15	15	15	15	14	13	12	12	13.9
令和4年度	13	13	14	16	17	17	19	19	19	18	17	17	16.5
令和5年度	18	19	18	18	18	19	19	19	18	18	19	15	18.2

*各月 月末現在

③ 入所前の状況

(単位:世帯)

区分 年度	DV	生計破綻	住居問題等	養育問題	死別	その他	合計
令和3年度	10	0	2	0	0	0	12
令和4年度	14	0	2	1	0	0	17
令和5年度	11	0	3	1	0	0	15

④ 在所期間の状況

(単位:世帯)

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和3年度	2	4	4	1	0	1	12
令和4年度	9	2	4	2	0	0	17
令和5年度	5	7	0	1	2	0	15

⑤ 児童の就学等の状況

(単位:名)

区分 年度	未就学	小学校	中学校	高等学校	その他	合計
令和3年度	8	8	4	0	1	21
令和4年度	12	10	2	1	1	26
令和5年度	7	5	3	4	0	19

⑥ 一時保護利用状況(配偶者等からの暴力行為一時保護事業)

年度 \ 区分	世帯数	利用者数	利用日数
令和3年度	0世帯	0人	0日
令和4年度	0世帯	0人	0日
令和5年度	0世帯	0人	0日

※ 京都府家庭支援総合センター(京都府婦人相談所)からの一時保護

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
清水まつり	令和5年9月23日	5世帯 12名	高台寺公園で開催された清水自治会連合会主催の「清水まつり」に参加し、地域と交流した。
東山区民ふれあいひろば2023	令和5年11月4日	1世帯2名	東山総合庁舎で開催された東山区主催の「ふれあいひろば」に参加し、舞台発表や作品展示等を楽しんだ。

② ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
さいもんめ学生サークル活動 (毎週水曜、第2・第4土曜) *長期休暇中は平日9時～17時	4/5、4/8、4/12、4/19、 4/22、4/26、5/10、5/13、 5/17、5/24、5/27、5/31、 6/7、6/10、6/14、6/21、 6/24、6/28、7/5、7/8、 7/12、7/18、7/25、7/26、 8/30、9/9、9/13、9/20、 9/22、9/27、10/4、 10/11、10/14、10/18、 10/25、11/1、11/11、 11/15、11/22、11/25、 11/29、12/6、12/13、 12/20、1/10、1/17、 1/24、1/27、1/31、2/7、 2/10、2/14、2/21、2/24、 2/28、3/25、3/27	入所児童(乳幼児は母親同伴)	学童保育の時間内利用者児童との交流。 夏休み期間中にはさいもんめ学生主催の夏祭り、3月には1回生企画としてレクリエーション大会を開催。多くの児童が参加し交流した。
さいもんめ学生サークル活動 (学習支援:水曜)	4/12、5/10、6/7、6/14、 6/28、9/27、10/4、10/11、 10/18、11/1、11/15、 11/22、11/29、12/13、 1/17、2/14、2/28、	入所中高生	中高生を対象とした学習支援

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
「東山ファミリーホーム虐待対応マニュアル検討会」	4/19(水)	10名	例年実施されている虐待学習と虐待対応マニュアルの確認を行う。(講師:飯田こころの相談員)
「発達のみちすじ」「障害者発達支援センターについて」	6/16(金)	10名	・子どもの発達について ・障害者発達支援センターの機能や役割について知る(講師:障害者発達支援センターはばたき 渡邊由佳センター長)
離婚に伴う手続き	10/4(水)	11名	「離婚」に係る様々な問題と離婚後の手続き等について(講師:小町崇幸 弁護士)
離婚後の相手方との交流	11/1(水)	11名	「離婚後」の面会交流やその後の課題について(講師:小町崇幸 弁護士)
健康寿命を延ばそう	11/16(木)	10名	・健康講座 ・セルフケア紹介、ツボ体験(講師:視力障害者福祉センター金盛副所長)
子どもに向けた性教育とジェンダー	2/7(水)	10名	・性暴力、児童虐待とDV ・DVはなぜ起きるのか(講師:吉田容子 弁護士)
派遣研修復命研修	3/6(水)	11名	<復命研修> 「[日本子ども虐待防止学会」(講師:飯田こころの相談員) 「全母協職員研修会」(講師:西村主任) 「母子生活支援施設指導者研修」(講師:木下総括主任)

5 視力障害者福祉センター

(1) 施設利用状況の推移

① 入・退所の状況

(単位:名)

年度	区分 種別	年度当初			途中退所			年度末				
		あん摩科	はり科		あん摩科	はり科		あん摩科	はり科			
令和3年度	通所	12	4	8	2	1	1	10 (3)	3 (2)	7 (1)		
	入所	12	7	5	3	2	1	9 (6)	5 (4)	4 (2)		
	計	24	11	13	5	3	2	19 (9)	8 (6)	11 (3)		
令和4年度	通所	11	1	10	1	0	1	10 (4)	1 (1)	9 (3)		
	入所	7	4	3	1	0	1	6 (5)	4 (3)	2 (2)		
	計	18	5	13	2	0	2	16 (9)	5 (4)	11 (5)		
令和5年度	通所	7	0	7	0	0	0	7 (2)	※1 (0)	6 (2)		
	入所	10	2	8	1	0	1	9 (4)	2 (1)	7 (3)		
	計	17	2	15	1	0	1	16 (6)	3 (1)	※13 (5)		

※視力センターにおいては、入所試験により年度当初に利用者を選定するため、年度中の入所はない。

但し、はり科1年次での年度中のあん摩科への転科は可能である。

※年度末在籍欄の()数字については、うち数で卒業生の人数を記載

※途中退所には休所人数を含む

※令和5年度には、年度中の転科1名あり(はり科→あん摩科)

② 月例別利用者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均利用者数
令和3年度	24	24	24	24	24	22	21	20	20	20	20	19	21.8
令和4年度	18	18	18	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16.6
令和5年度	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16.2

③ 年齢別状況

(単位:名)

年度	区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	合計
令和3年度		0	5	4	7	8	24
令和4年度		0	3	4	6	5	18
令和5年度		0	4	3	6	4	17

④ 地域別入所者の状況

(単位:名)

年度	区分	京都市	宇治市	城陽市	京田辺市	八幡市	京都府他市	京都府他町村	他府県	合計
令和3年度		5	0	2	0	0	1	0	16	24
令和4年度		7	0	2	0	0	0	0	9	18
令和5年度		7	0	1	0	0	1	0	8	17

⑤ 卒業後の進路状況

(単位:名)

年度	区分 科別	進学	教員養成 施設	病院 医院	治療院	自営	老人福祉 施設等	聴講	その他	計
		令和3年度	あん摩科	0	0	0	3	1	0	2
	はり科	0	0	1	4	0	0	0	0	5
	計	0	0	1	7	1	0	2	0	※11
令和4年度	あん摩科	0	0	0	2	0	0	0	※2	4
	はり科	0	0	0	0	1	2	1	0	4
	計	0	0	0	2	1	2	1	2	8
令和5年度	あん摩科	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	はり科	0	0	0	1	0	1	0	3	5
	計	0	0	0	1	0	1	0	※4	6

※令和3年度計11名には、在学中に就職者2名含む

※令和4年度その他欄は、就労継続支援A型事業所1名、在宅者1名

※令和5年度計4名には、就労継続支援A型事業所2名、ヘルスキーパー1名、訪問マッサージ事業所1名を含む

⑥ 国家試験合格率

(単位:名)

年度	区分 種別	あん摩マッサージ 指圧師	はり師	きゅう師	合計
		令和3年度	受験者数	7	5
	合格者数	5	5	5	15
	合格率(%)	71.4%	100.0%	100.0%	—
令和4年度	受験者数	7	4	4	15
	合格者数	6	3	3	12
	合格率(%)	85.7%	75.0%	75.0%	—
令和5年度	受験者数	3	5	5	13
	合格者数	3	5	5	13
	合格率(%)	100.0%	100.0%	100.0%	—

⑦ あん摩・はり 臨床実習の状況

(単位:名)

年度	区分 あん摩・マッサージ	はり・きゅう	合計
令和3年度	472	110	582
令和4年度	626	198	824
令和5年度	442	321	763

⑧ 相談支援内容の内訳

(単位:件)

年度	区分 サービス等利用計画の作成	サービス等利用計画の再評価	合計
令和3年度	8	15	23
令和4年度	3	15	18
令和5年度	8	12	20

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
地域あん摩奉仕	令和5年11月2日	49名	地域住民の方や臨床実習利用者の方々に対し、日頃のご協力に感謝を込めて、無料のあん摩施術を提供
健康講座	令和5年11月29日	4名	テーマ:「認知症、寝たきり予防のツボ療法」 講師:松本所長

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
理療科教員研修会	令和5年11月30日	12名	テーマ:「ポルトガルでの鍼医学における国際交流の実際」 講師: 明治国際医療大学 特任准教授 鶴 浩幸氏
国家試験対策研修会	令和5年6月20日・21日	85名	テーマ:「第32回国家試験の出題傾向と対策について」 講師: 各科目担当教員
	令和5年9月11日・13日		
	令和5年11月1日		
	令和6年1月24日・25日		
	令和6年2月27日		
業務改善研修会	令和6年2月28日	13名	テーマ:「リーダーシップ研修」 講師: メディカルチームクリエーター 山中 智香氏
授業内容改善会議	令和5年8月1日	21名	テーマ:「授業の質の向上を目指した学習支援について」 講師: 各科目担当教員
	令和5年12月19日		
虐待防止・権利擁護研修	令和5年9月14日	13名	テーマ:「施設内人権研修会」 講師: 鎌部副所長
施術者マナー講習会	令和6年2月28日	30名	テーマ:「施術者マナーの基本について」 講師: メディカルチームクリエーター 山中 智香氏
面接研修会	令和6年2月28日	5名	テーマ:「就職活動における面接の基本マナーと指導」 講師: 一浦教員、川口教員

6 桃山学園

(1) 施設利用状況の推移

① 障害児入所施設

(ア) 入・退所児童数

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				就職	家庭復帰	成人施設	その他	
令和3年度	22(9)	7(1)	5(2)	0(0)	1(1)	2(1)	2(0)	24(8)
令和4年度	23(8)	3(2)	3(0)	0(0)	2(0)	0(0)	1(0)	23(10)
令和5年度	24(10)	5(1)	5(2)	2(1)	1(0)	2(1)	0(0)	23(9)

※令和5年度末には同日退所1名、措置停止中1名を含む

()内は契約者数

*「年度末」は令和6年3月31日時点の人数

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和3年度	22	21	22	22	22	22	22	26	26	26	26	24	23.4
令和4年度	23	23	24	25	25	25	24	24	23	23	23	23	23.8
令和5年度	24	23	23	24	24	24	24	24	24	24	23	22	23.6

*各月初日の人数

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	2~5歳 (幼児)	6~12歳 (小学生)	13~15歳 (中学生)	16歳~18歳 (高校生)	18歳以上	合計
令和3年度	1	8	6	9	0	24
令和4年度	0	5	9	9	0	23
令和5年度	0	5	5	12	0	22

*令和6年3月1日時点の人数

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力 欠如	虐待	不適応行動	生活習慣 の乱れ	
令和3年度	0	1	17	6	0	0	24
令和4年度	0	1	16	6	0	0	23
令和5年度	0	1	14	6	0	1	22

*令和6年3月1日時点の人数

(オ) 在所期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和3年度	6	4	4	2	4	4	24
令和4年度	3	4	2	5	4	5	23
令和5年度	4	4	3	2	5	4	22

*令和6年3月1日時点の人数

(力) 児童の就学等の状況

(単位:名)

年度 \ 区分	未就学	小学校	中学校	高等学校	過齢児	合計
令和3年度	1	8	6	9	0	24
令和4年度	0	5	9	9	0	23
令和5年度	0	5	5	12	0	22

* 令和6年3月1日時点の人数

(キ) 一時保護利用状況

年度 \ 区分	利用者数	利用日数
令和3年度	4名	39日
令和4年度	12名	91日
令和5年度	6名	106日

(ク) 退所後の進路状況

(単位:名)

年度 \ 区分 科別	一般就労	就労支援 A型	就労支援 B型	生活介護事業所	施設入所	その他	計
令和3年度	0	0	0	0	3	2	5
令和4年度	0	0	0	0	0	3	3
令和5年度	2	0	0	0	3	0	5

(ケ) 障害程度(IQ・DQ)別状況

(単位:名)

年度 \ 区分	軽度(51~75)	中度(36~50)	重度(20~35)	最重度 (19以下)	合計 (再掲 強度行動障害児)
令和3年度	14	0	8	2	24 (6)
令和4年度	13	0	8	2	23 (6)
令和5年度	11	1	8	2	22 (6)

* 令和6年3月1日時点の人数

(コ) 短期入所及び日中一時支援の状況

(単位:名)

年度 \ 区分	短期入所		日中一時支援		備考 契約市町村
	利用実人数	利用延べ日数	利用実人数	利用延べ日数	
令和3年度	14	111日	5	21日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、 亀岡市、宇治市、城陽市、
令和4年度	11	130日	4	25日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、 亀岡市、宇治市、城陽市
令和5年度	11	98日	4	18日	京都市、大山崎町、向日市、京田辺市、 亀岡市、宇治市、城陽市、

② 児童養護施設

(ア) 入・退所児童数

(単位:名)

区分 年度	年度当初	入所	退所	退所の理由				年度末
				家庭復帰	進学	就職	その他	
令和3年度	32	2	6	0	2	0	4	28
令和4年度	28	4	5	3	0	1	1	27
令和5年度	28	4	4	2	1	0	1	28

(イ) 月例別入所者数の推移

(単位:名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均入所者数
令和3年度	32	30	30	30	30	30	30	30	30	29	29	29	29.9
令和4年度	28	28	26	27	27	25	25	26	26	26	27	27	26.5
令和5年度	28	27	27	26	25	25	25	25	26	28	28	28	26.5

(ウ) 年齢別状況

(単位:名)

区分 年度	2~5歳 (幼児)	6~12歳 (小学生)	13~15歳 (中学生)	16歳~18歳 (高校生)	18歳以上	合計
令和3年度	4	9	7	7	1	28
令和4年度	6	9	5	7	0	27
令和5年度	5	8	6	8	1	28

(エ) 入所前の状況

(単位:名)

区分 年度	保護者				児童		合計
	死亡 行方不明	病気/入院	養育能力 欠如	虐待	不適応行動	生活習慣 の乱れ	
令和3年度	0	0	8	17	2	1	28
令和4年度	0	0	7	18	2	0	27
令和5年度	0	0	12	12	4	0	28

(オ) 在園期間の状況

(単位:名)

区分 年度	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上	合計
令和3年度	2	5	4	4	4	9	28
令和4年度	4	2	4	2	4	11	27
令和5年度	5	2	4	1	2	14	28

(カ) 児童の就学等の状況

(単位:名)

年度	区分	小学生	中学生	高校生	措置延長	合計
	未就学 (幼稚園含む)					
令和3年度	4	9	7	7	1	28
令和4年度	7	9	6	5	0	27
令和5年度	5	8	6	8	1	28

(キ) 一時保護利用状況

年度	区分	利用者数	利用日数
令和3年度		0名	0日
令和4年度		13名	128日
令和5年度		22名	467日

(ク) 一時預かり(各市町村子育て支援事業)利用状況

(単位:名)

年度	区分	利用状況			委託理由別延べ人数					
		利用人数	利用回数	利用延べ人数	保護者 仕事	保護者 入院等	保護者 出産	保護者 看護	保護者 冠婚葬祭	その他 (リフレッシュ等)
令和3年度		0	0回	0	0	0	0	0	0	0
令和4年度		14	40回	16	5	1	1	0	1	8
令和5年度		11	5回	26	0	0	5	0	0	21

(ケ) 高校卒業後の進路状況

(単位:名)

年度	区分 科別	就職	進学	福祉的 就 労	計
令和4年度	0	1	0	1	
令和5年度	0	1	0	1	

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
スマホ教室講師派遣	2/25・3/4・3/8	6人	地域住民主催のスマホ教室へ講師を派遣し、使用方法をレクチャーした。
第62回桃山学園祭	11/3	384人	地域の方にも参加できる形として実施。学校関係、児童相談所等行政関係、保護者やボランティア等外部者を招き、小規模ではあるが飲食やゲームコーナーを開設したほか、児童や職員によるステージ発表や作品展示を行った。

② ボランティア受入

事業名称	実施回数	参加者	実施内容
学園行事	1回	69人	京都京洛ライオンズクラブ他、個人ボランティア等桃山学園祭における模擬店等の支援
余暇支援 (障害児入所施設) (児童養護施設)	11回	0人 53名	学生ボランティアによる洗濯物の仕分け ダンス 絵画
理美容支援 (障害児入所施設) (児童養護施設)	6回	11人 78名	希望児童の散髪を1～2ヶ月に1回実施

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
外部アドバイザーによる ケースカンファレンス	5月22日 6月12日 7月10日 9月11日 10月16日 11月20日 12月18日 1月15日 2月18日 3月4日	延べ71名	毎月2～3ケースを対象 「重要な機能的コミュニケーション・スキル・チェックリスト」 「FAST機能分析スクリーニング・ツール」を用いて事前の対象児童のモニタリングを実施し、外部アドバイザーのサポートにより、行動障害の軽減を図るために 問題点や改善点について検討を重ねる。
自閉症スペクトラム症と ソーシャルスキル支援	11月20日	20名	自閉症児に対応するソーシャルトレーニングについて、外部講師を招き学びを深める
人権研修(3回シリーズ)	6月29日 10月26日 1月25日	支援課 延べ59名 養護課 延べ39名	人権に係る講義に加え、毎回事例を用いて対応に関するグループ討論を繰り返し、捉え方や考え方を深める。
はばたき合同勉強会	5月16日 5月26日 6月20日 9月19日 10月3日 12月5日	各回13名	ケース事例を通して、支援のあり方や将来を見据え社会資源や活用方法などを学ぶ。
こども発達支援センター・東 山母子生活支援施設 合同交流会	12月8日 2月2日	12名	各施設の実情を把握し、自施設支援力向上の一助とする。

7 こども発達支援センター

(1) 施設利用状況の推移

① 通園部門

(ア) 入・退園の状況

(単位:名)

年度	区分 種別	年度 当初	入園	退園の状況			年間開所 日数	延べ通園 人数	通園率 (%)	
				卒園	終了	移行				
令和3年度	福祉型:児童発達	49	17	28	15	13	0	218	3,330	50.9
	医療型:児童発達	15	5	12	0	6	6	218	1,233	18.9
	児童発達(重心)	7	1	5	4	0	1	218	321	29.4
	計	71	23	45	19	19	7	—	—	—
令和4年度	福祉型:児童発達	59	38	35	15	7	13	225	3,511	52.0
	医療型:児童発達	9	6	4	0	1	3	225	720	10.7
	児童発達(重心)	3	1	2	2	0	0	225	116	10.3
	計	71	45	41	17	8	16	—	—	—
令和5年度	福祉型:児童発達	55	39	34	26	2	6	227	3,723	54.7
	医療型:児童発達	8	12	3	0	1	2	227	611	9.0
	児童発達(重心)	2	0	1	0	1	0	227	29	2.6
	計	65	51	38	26	4	8	—	—	—

※「年度当初」及び「入園」欄には4月1日付け入園児数を含む。

※「定員に対する通園率」=「実際の延べ通園人数」÷「最大通園人数(定員×年間開園日数)」

(イ) 月例別通園児数の推移

(単位:名)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均通園児数
3	福祉型:児童発達	49	50	49	49	52	53	51	51	50	50	49	60	51.1
	医療型:児童発達	15	16	16	18	18	17	18	18	18	18	18	19	17.4
	児童発達(重心)	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7.8
	合計	71	73	73	75	78	78	77	77	76	76	75	87	76.3
4	福祉型:児童発達	59	60	61	61	61	63	63	62	61	63	64	67	62.1
	医療型:児童発達	9	9	9	9	11	11	11	13	13	13	13	13	11.3
	児童発達(重心)	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	3.7
	合計	71	72	73	73	76	78	78	79	78	80	81	84	76.9
5	福祉型:児童発達	55	56	58	58	59	60	62	64	64	69	71	72	62.3
	医療型:児童発達	8	9	10	10	11	11	11	13	13	14	15	16	11.8
	児童発達(重心)	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.3
	合計	65	67	70	70	71	72	74	78	78	84	87	89	75.4

(ウ) 卒園後の状況

(単位:名)

年度	区分 種別	支援学校	小学校		合計
			普通学級	障害児学級	
令和3年度	福祉型:児童発達	4	7	4	15
	医療型:児童発達	0	0	0	0
	児童発達(重心)	4	0	0	4
	計	8	7	4	19
令和4年度	福祉型:児童発達	4	10	1	15
	医療型:児童発達	0	0	0	0
	児童発達(重心)	2	0	0	2
	計	6	10	1	17
令和5年度	福祉型:児童発達	8	12	6	26
	医療型:児童発達	0	0	0	0
	児童発達(重心)	0	0	0	0
	計	8	12	6	26

② 診療部門

(ア) 外来患者数

(単位:名)

年度	区分	小児科	整形外科	精神科	合計
令和3年度		12,304	252	3,164	15,720
令和4年度		12,352	295	3,947	16,594
令和5年度		12,241	262	4,313	16,816

(イ) セラピー、心理検査実施状況(延べ単位数/件)

年度	区分	理学療法 (単位)	言語療法 (単位)	作業療法 (単位)	合計	心理検査 (件)
令和3年度		5,885	6,628	4,621	17,134	927
令和4年度		5,808	6,800	5,763	18,371	1,069
令和5年度		4,880	7,229	5,338	17,447	1,024

(ウ) 初診待機児童数(発達障害)

(単位:名)

年度	区分	年度当初	新規予約	診察済	待機児童数 (3月31日時点)	待機期間
令和3年度		223	465	397	291	6.85ヶ月
令和4年度		256	498	490	248	4.90ヶ月
令和5年度		248	541	504	269	3.43ヶ月

※待機児童数はキャンセルを控除

③ 地域支援部門

(ア) 訪問療育指導実施状況(医療専門職派遣事業(PT)含む)

年度	派遣職種 区分	PT	ST	OT	心理判定員	その他	合計
		(理学療法士)	(言語聴覚士)	(作業療法士)			
令和3年度	指導人員(名)	2	4	5	0	0	11
	訪問先(箇所)	1	2	2	0	0	5
令和4年度	指導人員(名)	4	5	8	0	0	17
	訪問先(箇所)	2	2	2	0	0	6
令和5年度	指導人員(名)	2	2	2	1	0	7
	訪問先(箇所)	2	1	1	1	0	5

※訪問療育指導… 各市町村の療育教室や知的障害者通所施設等へ職員を派遣し、相談指導すること。

(イ)ー1 放課後等デイサービス 学年・学級・学校別状況

(単位:名)

年度	学校・学級 学年	通常学級	通級指導教室利 用 (ことばの教室)	特別支援学級	特別支援学校	計
令和3年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	3	2	0	0	3
	3年生	5	1	0	0	5
	4年生	10	3	3	0	13
	5年生	9	2	1	0	10
	6年生	8	2	3	0	11
	中学1年生	5	0	0	0	5
	中学2年生	0	0	1	0	1
	中学3年生	2	0	0	1	3
	計	42	10	8	1	51
令和4年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	1	1	0	0	1
	3年生	3	0	2	0	5
	4年生	10	2	4	0	14
	5年生	7	1	3	0	10
	6年生	6	1	2	0	8
	中学1年生	8	3	1	0	9
	中学2年生	1	0	0	0	1
	中学3年生	0	0	0	0	0
	高校1年生	0	0	0	1	1
計	36	8	12	1	49	
令和5年度	1年生	0	0	0	0	0
	2年生	0	0	0	0	0
	3年生	5	2	0	0	5
	4年生	8	2	3	0	11
	5年生	6	1	4	0	10
	6年生	5	2	2	0	7
	中学1年生	3	0	1	0	4
	中学2年生	4	2	1	0	5
	中学3年生	3	0	0	0	3
	高校2年生	0	0	0	1	1
計	34	9	11	1	46	

(イ)ー2 放課後等デイサービス 利用状況

	開所日数(日)	延べ利用人数(名)	1日当たり平均(名)
令和3年度	234	1,962	8.4
令和4年度	237	2,023	8.5
令和5年度	234	1,954	8.3

(ウ)放課後等デイサービス 診断名別状況

(単位:名)

診断名 年度	自閉症スペクトラム (疑いも含む)	高機能広汎性発達障害	広汎性発達障害	ADHD (疑いも含む)
令和3年度	39	1	0	15[12]
令和4年度	44	2	1	17[16]
令和5年度	42	2	2	18[18]

※自閉症スペクトラムとADHD併存している場合もある。[]に記入。

(2) 地域に向けた公益的な取組み

① 地域に向けた活動

事業名称	実施日	招待者・参加者	実施内容
とまり木	5月9日、7月19日 8月3日、8月18日 9月7日、11月8日 3月7日	参加者8名	地域支援の一環として、お子様の発達(知的、情緒、言語)が気になる保護者に対して、気軽に相談できる場を提供し、不安の軽減や日々のお子様との関わり方などを提案していく。

② ボランティア受入

事業名称	実施日	参加者	実施内容
放課後等デイサービス	11月11日、 3月1日～29日 (火～土)22日間	16名	すてつがマーケット、放デイ活動の補助 延べ受け入れ 34名

(3) 職場内研修実施状況

研修名	実施日	参加人数	研修内容
職員研修(所内研修)	令和5年4月5日	8人	新任研修 目的:センター全体の役割や各課が行っている事業について理解する 講師:遠藤課長、板東参事、青木課長、吉田課長補佐
職員研修(所内研修)	令和5年5月12日	15人	食物アレルギーの対応について① 目的:「アレルギー症状の確認」「配膳時の動き、原因食材の除去について」を理解する。 講師:青山課長、伊藤栄養士
職員研修(所内研修)	令和5年6月2日	3人	窒息時の対応について 目的:誤飲・誤嚥時早急対応を実施できるようにする方法:誤飲・誤嚥時早急対応を実施できるようにするため、デモ人形を使用して実践する 講師:看護師
職員研修(所内研修)	令和5年6月5日	26人	食物アレルギー対応について② 目的:こどもに食物アレルギー症状が出た時の対応を習得する。 方法:ロールプレイ「食物アレルギーの対応」
職員研修(所内研修)	令和5年9月29日	28人	不審者対応 不審者が疑われる人への対応を理解する。 研修での学びを、当施設のマニュアルを実践に即したものに改訂する作業に繋げる。 講師:京都府田辺警察署
職員研修(所内研修)	令和5年10月27日	31人	施設内実践研究発表会 目的:日々の業務における取り組みや支援をまとめ、振り返る機会とする。 これらの取り組みを通して、日々の業務をさらに充実・発展させる。
職員研修(所内研修)	令和5年11月20日	22人	摂食・嚥下の障害 ①統・基礎編 目的:通園での摂食指導を各職員が行えるように、摂食・嚥下の障害について基礎を学ぶ。 講師:松本ST、伊藤管理栄養士
職員研修(所内研修)	令和5年12月6日	23人	摂食・嚥下の障害 ②実践編 目的:通園児の給食動画を見て、課題や支援方法について検討する。

8 発達障害者支援センター

(1) 施設利用の状況

① 障害種別利用状況(実支援人員)

(単位:名)

区分 年度	自閉症	アスペルガー 症候群	広汎性発 達障害	注意欠陥 多動性障 害 (AD/HD)	学習障害 (LD)	その他	不明(未診 断を含む)	合計
令和3年度	97 (41)	17 (0)	18 (3)	32 (13)	3 (3)	19 (6)	218 (41)	404 (107)
令和4年度	83 (39)	10 (0)	11 (0)	31 (11)	8 (7)	19 (7)	214 (35)	376 (99)
令和5年度	85 (37)	8 (0)	12 (1)	46 (11)	6 (6)	13 (6)	192 (35)	362 (96)

※()内はこども相談室実支援人員

② 年齢別利用状況(実支援人員)

(単位:名)

区分 年度	0~6歳 (乳幼児)	7~12歳 (小学生)	13~18歳 (中・高校 生)	19歳以上	不明	合計
令和3年度	5 (2)	70 (63)	64 (37)	180 (3)	85 (2)	404 (107)
令和4年度	7 (4)	50 (48)	67 (45)	161 (2)	91 (0)	376 (99)
令和5年度	6 (5)	48 (44)	67 (45)	165 (1)	76 (1)	362 (96)

※()内はこども相談室実支援人員

③ 相談内容別利用状況(延べ相談件数)

(単位:件)

区分 年度	発達障害 の有無	家庭生活	制度	利用機関	教育・進路	対応困難 状況の改 善	就労・職場	その他	合計
令和3年度	43 (22)	870 (343)	131 (19)	421 (108)	725 (456)	138 (90)	330 (0)	371 (157)	3,029 (1,195)
令和4年度	54 (22)	885 (387)	107 (11)	448 (83)	747 (525)	97 (90)	316 (0)	271 (87)	2,925 (1,205)
令和5年度	31 (11)	745 (274)	68 (11)	377 (78)	661 (450)	61 (39)	231 (0)	271 (110)	2,445 (973)

④ 相談方法(延べ支援人数)

(単位:名)

区分 年度	来所	訪問	電話	その他	合計
令和3年度	384 (185)	86 (49)	1,379 (476)	65 (0)	1,914 (710)
令和4年度	426 (251)	123 (63)	1,202 (387)	72 (2)	1,823 (703)
令和5年度	437 (227)	95 (44)	985 (332)	53 (5)	1,570 (608)

※()内はこども相談室実支援人員

職員配置状況

令和6年3月31日現在

職種	法人全体		本部事務局		心身障害者福祉センター				落着寮				東山母子生活支援施設		視力障害者福祉センター																				
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	障害者支援施設		自立訓練・TOMO		リハビリ病院		体育館		計		養護老人		教護施設		常勤		非常勤		計												
					常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤							
事務職員	37	2	39	12	12	6	0	6	5	0	1	1	0	4	0	4	2	2	2	1	1	2	1	3											
医師	9	20	29	0	5	2	7	0	0	5	2	7	0	0	2	2	1	1	1	1	1	1	1	2											
歯科医師	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
生活支援員	66	13	79	4	4	24	8	32	22	8	30	2	2	38	5	43	17	3	20	21	2	23	0	0											
職業生活支援員兼教員	11	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11											
体育指導員	2	2	4	1	1	2	1	3	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
少年支援員	4	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	5											
児童支援員	25	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
母子支援員	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	5											
相談支援員	4	0	4	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
訪問支援員	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
発達支援員	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
保育士	21	0	21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
公認心理師	6	1	7	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
臨床心理士	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
理学療法士	10	0	10	0	7	0	7	0	0	7	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
作業療法士	10	0	10	0	5	0	5	0	1	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
言語聴覚士	7	0	7	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
薬剤師	1	1	2	0	1	1	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
臨床検査技師	1	1	2	0	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
診療放射線技師	1	1	2	0	1	1	2	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
栄養士	6	0	6	0	2	0	2	1	1	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	1	1	0	1											
看護師	23	6	29	0	14	2	16	1	1	13	2	15	0	4	0	4	2	2	2	2	2	4	1	1											
准看護師	2	1	3	0	2	1	3	0	0	2	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
歯科衛生士	0	1	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
自動車運転員	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0											
調理員	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0											
その他技術職員	0	16	16	0	0	0	2	2	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3											
合計	257	70	327	16	1	17	74	19	93	29	8	37	4	4	39	10	49	2	1	3	47	8	55	21	4	25	26	4	30	10	4	14	14	7	21

※「常勤」とは週40時間勤務の職員をいう
 ※「非常勤」とは週40時間未満勤務の職員をいう
 ※理事長、常務理事を含めない
 ※施設長は、医師を除き「事務職員」
 ※「リハビリ病院」 宿直医師を含めない
 ※視力障害者福祉センター ヒューマンアシスタントはその他技術職員勘定
 ※桃山学園 児童指導補助員はその他技術職員勘定



<https://ksj.or.jp/>

運 営 施 設

● 京都府立心身障害者福祉センター

城陽市中芦原

● 京都府立洛南寮

京田辺市大住仲ノ谷14-1

● 京都府立東山母子生活支援施設

京都市東山区清水四丁目185-1

● 京都府立視力障害者福祉センター

京都市左京区下鴨森本町21

● 京都府立桃山学園

京都市伏見区桃山町遠山50

● 京都府立こども発達支援センター

京田辺市田辺茂ヶ谷186-1

● 京都府発達障害者支援センター

京都市伏見区竹田流池町120



社会福祉法人 **京都府社会福祉事業団**

〒604-0874

京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地
京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）6階

TEL 075-222-2212 FAX 075-222-2236